

# 社 会 科 教 室

第 1 4 2 号

平成12年度総会特集号

- ・ 組 織 と 運 営
- ・ 年 間 計 画
- ・ 研 究 主 題
- ・ 会 員 名 簿

香川県小学校教育研究会社会科部会  
香川県小学校社会科教育研究会

## 21世紀の幕開け 切磋琢磨しよう！ 「生きる力」をはぐくむ 特色あるカリキュラム編成を目指して

香川県小学校教育研究会社会科部会  
香川県小学校社会科教育研究会  
会 長 丸 野 忠 義

2000年（平成12）年度は、20世紀の幕閉じであり、21世紀の幕開けという、正に分水嶺、記念すべき年度です。

とは言うものの、今社会は、不安定、不確実、不透明、不景気などの荒波の中にあります。こうした荒波は、今後も予想されます。その社会変化に対応するために、いよいよ本年度から、21世紀の新しい教育の創造を目指した学校教育の内容や制度を見直す教育改革がスタートしました。つまり、本年度から「『ゆとり』の中で『生きる力』をはぐくむ教育」の実現という理念の基に、新学習指導要領と新教育課程の移行措置要領の趣旨を生かし、各学校が主体的に特色ある学校づくりの推進をすることになったのです。

さて、私共香社研の取り組みですが、平成11年度は、一昨年度の新教育課程構想を見越した全小社研香川大会3校の成果を広め、深めるとともに、「理論の平易化と実践の日常化」を目指して研究テーマを「社会科の基礎・基本からカリキュラムを創る～社会科基底単元の構想と実践」と設定し、「夏季研修会」や「定例研修会」により各地域・学校の特色が生きる研究・実践を積み、その成果を挙げてきました。

そこで、平成12年度の研究テーマは、これまでの成果に加えて、今進行している教育改革の動向を一層、見定めて、「『生きる力』を目指す社会科の基礎・基本を見つめた特色あるカリキュラムの編成～社会科基底単元の構想と実践を通して」としました。

つまり、昨年度は、「香川県下のどの学校もが、社会科学習の教育課程を編成するにあたり、そのより所となる社会科基底単元を作成し、実践してきました。本年度は、「生きる力」をはぐくむための各校の特色あるカリキュラムの編成に役立つ社会科基底単元を一層実践的且つ実証的に作成したい。県下のどの先生や子どももが社会科の確かな力をつけるための「理論の平易化と実践の日常化」を目指し、生き生きと楽しく取り組める社会科学習となるように努力したい。どちらかと言えば、昨年度の研究実践が「点」とするならば、それを乗り越え「点から線、線から面へ」という転移的拡大力をもたせたいのです。

そのための研究活動として、次の3つを考えています。その1は、社会科基底単元の研究実践事例集を刊行すること。2は、その事例集を活用して夏季研究会を演習形式的にすること。3は、定例研修会を課題意識の連続性による課題解決的定例会にすることです。

香社研同士の皆さん、本年度も、切磋琢磨しようではありませんか。我が香社研の充実と活性化さらに発展のための研究・実践を目指して。

尚、平成12年7月28日の坂出万葉会館での夏季研修会、また、各郡市持ち回りの定例会において、大いなる研究成果を挙げるためには、多くの方々のご協力と温かいご指導、ご助言を頂くことが肝要です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 平成11年度定例研究集会・夏季研修会 回顧

### 1 本年度の定例研究集会

#### ○ 6月定例会（丸亀・仲善）

- ・ 月 日 6月19日
- ・ 提案者 合田 吉宏（丸・城東小）  
寒川 英樹（丸・城坤小）  
森 昭二（善・東部小）
- ・ 指導者 旅田 敏弘 先生

#### ○ 7月定例会（木田・香川）

- ・ 月 日 7月3日
- ・ 提案者 脇 広久（木・氷上小）  
小原 敏昭（香・大野小）
- ・ 指導者 森 正彦 先生

#### ○ 10月定例会（三豊・観音寺）

- ・ 月 日 10月2日
- ・ 授 業 「わが町大野原の開墾」
- ・ 授業者 高橋 克佳（三・大野原小）
- ・ 提案者 石川 博健（三・松崎小）
- ・ 指導者 柴田 英明 先生

#### ○ 10月定例会（小豆・大川）

- ・ 月 日 10月16日
- ・ 授 業 「県の様子を調べ、他の土地と比べて、よさをイラストマップにしよう」
- ・ 授業者 梅本 明宏（大・志度小）
- ・ 提案者 松村 和仁（大・津田小）  
林 宗利（小・土庄小）
- ・ 指導者 森 正彦 先生

#### ○ 11月定例会（坂出・綾歌）

- ・ 月 日 11月6日
- ・ 授 業 「中国のくらしを学び、自分の生き方について作文にまとめよう」
- ・ 授業者 福家 光洋（坂・府中小）
- ・ 提案者 田井 敏之（坂・東部小）
- ・ 指導者 川中 祥照 先生

#### ○ 1月定例会（高松）

- ・ 月 日 1月29日
- ・ 授 業 「情報化社会の農業について考えよう」
- ・ 授業者 葛西 秀樹（高・香西小）
- ・ 指導者 池内 博 先生

### 2 夏季研究集会

- ・ 月 日      7月30日
- ・ 場 所      香川町立大野小学校  
マツノイパレス
- ・ 内 容      公開授業、分科会Ⅰ（郡提案）、本部の主張、分科会Ⅱ（2、3学期基底単元の実践を探る）
- ・ 指導講評    香川県教育委員会事務局大川教育事務所 主任指導主事    寺田 文久 先生  
香川県教育委員会事務局坂出綾歌教育事務所 主任指導主事    川中 祥照 先生  
香川県教育委員会事務局三豊教育事務所 主任指導主事    柴田 英明 先生  
坂 出 市 立 中 央 小 学 校 教諭    旅田 敏弘 先生  
香川大学教育学部附属坂出小学校 教諭    福岡 和信 先生  
高 松 短 期 大 学 教授    池内 博 先生

### 3 定例研究集会・夏季研究集会を振り返って～成果と課題～

前年度2月に開催された全小社研香川大会の成功を広め、深めるために、6月の丸亀・仲善から1月の高松に至るまで、内容の充実した定例研究集会が続いた。

以下、この一年間の足取りを振り返ってみたい。

口火を切った6月の丸亀・仲善集会では、丸亀社研から6年「北条時宗と鎌倉幕府」の実践をもとに、内容の厳選とそれにかかわる人物学習の在り方、追体験を活用した複線型の授業展開、共感的理解に基づく意思決定場面の設定等について、仲善社研から5年「わたしたちが食べる魚をどうやって確保する？」の実践をもとに、知識構造の明確化、単元構成モデル、ジグソー学習の実施等について提案発表がなされた。

続く7月の木田・香川集会では、木田社研から4年「県外からも送られてくる水」の実践をもとに、子どもが自ら問題解決をしていくための教師の支援の在り方、調べる力をつける基礎的な学習技能等について、香川社研から4年「わたしたちの安全な暮らしを守るために働いている人たちの努力を絵図にまとめて、わたしたちの生活を見直す手がかりにしよう」の実践をもとに、警察、消防を並列に扱い、課題を選択できる単元構成、発見カードの活用とその分類等について提案発表がなされた。

夏季研究集会では、午前中は香川町立大野小学校で、単位時間の弾力的運用による授業が公開され、3年、4年、6年の各分科会では郡提案と活発な討議が行われた。午後からは会場を移動し、3人の指導主事の先生と常任指導者の池内博先生をお迎えしてパネル討議が行われ、大野小学校の実践から新しい社会科学習の在り方を示していただいた。また、2、3学期の基底単元の実践を探るために、各学年の担当者から原案が提示され、会員の先生方とともに単元構成を創り上げていくことができた。

10月の三観集会では、郷土の開発にかかわった先人の苦勞や苦心に気付き、先人への感謝と郷土を愛する心を育てるため、子どもの調べを教材化し、事実認識を大切にした授業が展開された。

同じく10月の小豆・大川集会では、どの地域も町の特色を生かした町づくりをしようとしていることから、地域・校区の実態や特色を生かした単元構想と授業が提案された。

11月の坂出・綾歌集会では、日本と中国の学校の様子を比べることから異文化理解、人間理解を図るとともに、総合的学習ともつないだ授業が展開された。

1月の高松集会では、いちご農家からの情報収集から農業と情報のつながりを調べるとともに、分かったことを表現する（できる）授業から、個々に表現できることから始まる授業への改造が図られた。

来年度もさらなる発展、充実を目指して実践を積み重ねていきたい。



## 平成12年度の組織と運営

### (1) 組織について

#### ① 本部役員

|            | 氏 名     | 学 校 名   | 〒 学校所在地                       | 学 校 電 話      |
|------------|---------|---------|-------------------------------|--------------|
| 会 長        | 丸 野 忠 義 | 坂・東 部 小 | 762-0007 坂・室町1-1-21           | 0877-46-0234 |
| 副会長        | 古 市 聖 治 | 大・長 尾 小 | 769-2301 大・長尾町東901-1          | 0879-52-3181 |
|            | 大 西 孝 典 | 観・常 磐 小 | 768-0012 観・植田町365             | 0875-25-2988 |
|            | 関 根 建 一 | 高・新塩屋町小 | 760-0060 高・末広町5               | 087-851-2011 |
| 会 計<br>監 査 | 植 松 勝   | 高・附属高松小 | 760-0017 高・番町5-1-55           | 087-861-7108 |
|            | 山 下 清 明 | 仲・長 炭 小 | 766-0017 仲・満濃町大字炭所<br>西1431-2 | 0877-79-2006 |

#### ② 顧 問

(歴代会長)

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 杉岡 茂  | 神原 萬吉 | 高嶋 利市 | 岩倉 良行 |
| 糸川 達  | 東原 岩男 | 柳 清茂  | 池内 博  |
| 岡野 啓  | 亀山 信夫 | 川田 豊弘 | 亀井 達男 |
| 岡田 弘治 | 曾根 照正 | 中田 清  | 上川 敦生 |

#### ③ 常任指導者

|       |       |      |       |
|-------|-------|------|-------|
| 池内 博  | 岡田 弘治 | 河津 學 | 曾根 照正 |
| 上川 敦生 |       |      |       |

#### ④ 事 務 局

〈総 務〉

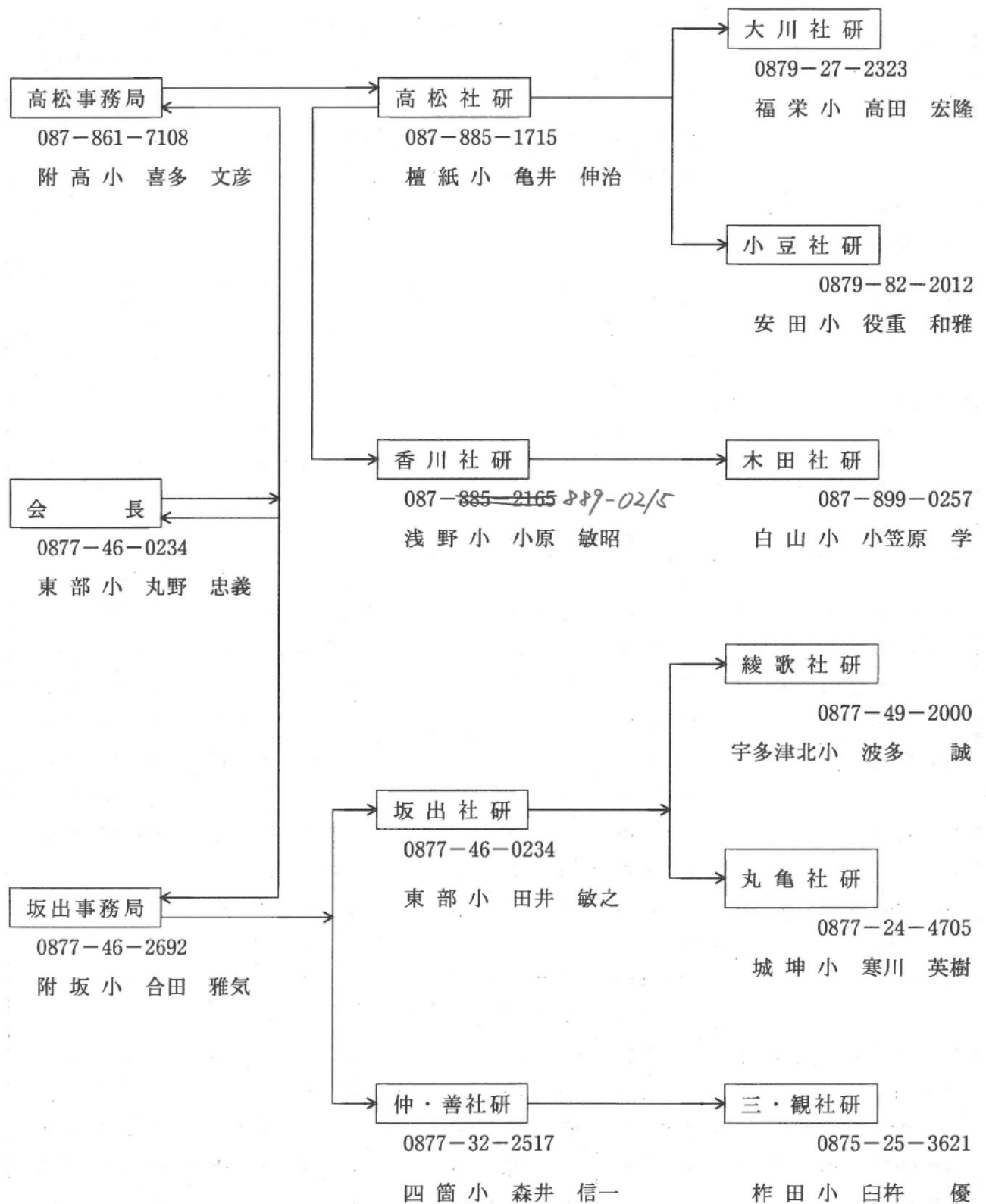
|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 旅田 敏弘 | 合田 雅気 | 喜多 文彦 |
| 寺嶋 俊秀 | 亀井 健男 | 佐柳 仁  |

# 郡市理事名簿

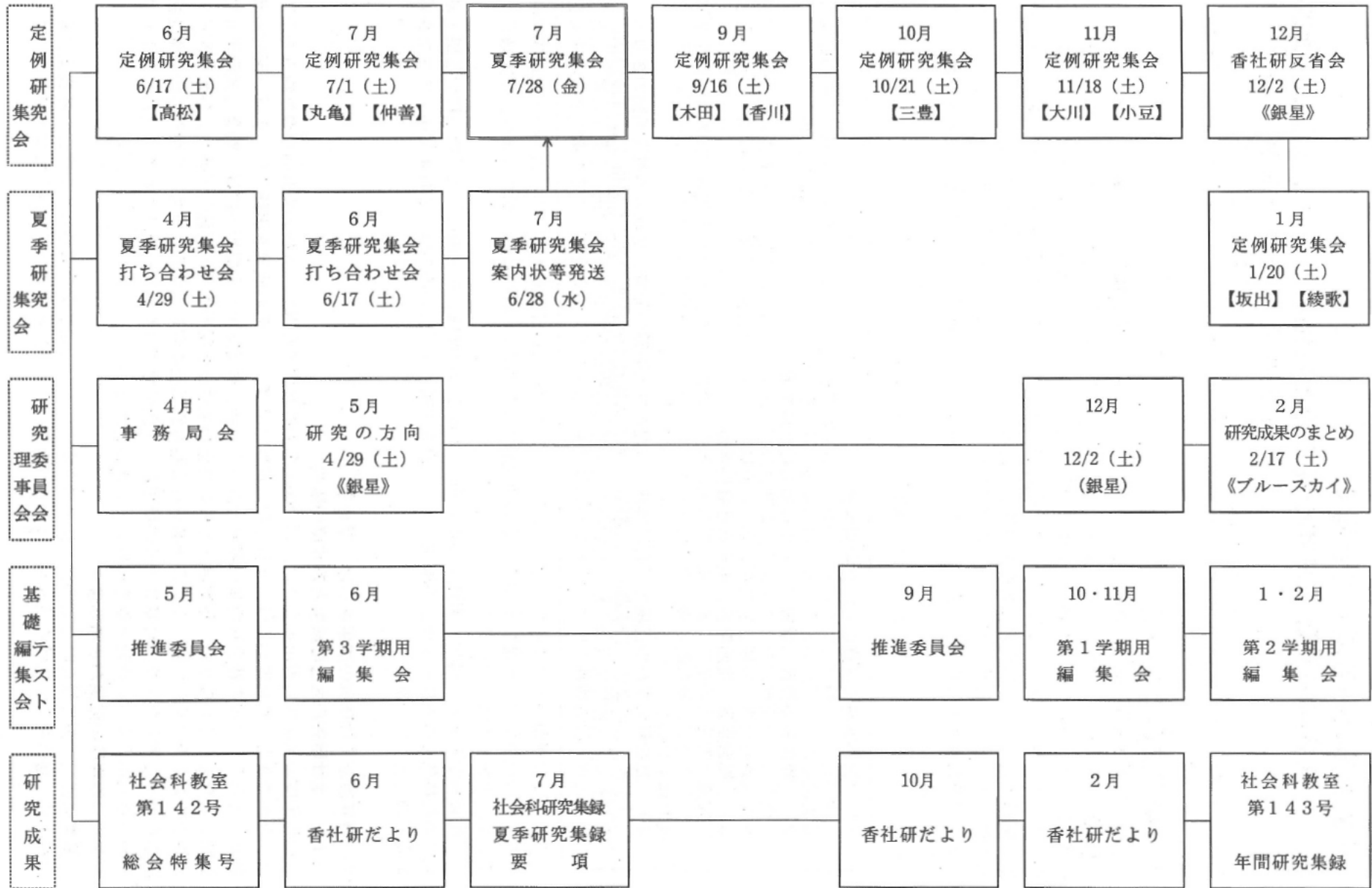
| 郵便番号     | 郡市   | 町名   | 校名     | ○ | 理事名   | 勤電話          |
|----------|------|------|--------|---|-------|--------------|
| 761-0104 | 高松市  | 高松町  | 古高松小   |   | 吉本正隆  | 087-841-9204 |
| 761-0322 | "    | 前田東町 | 前田小    |   | 池田孝徳  | 087-847-6562 |
| 761-0446 | "    | 東植田町 | 東植田小   |   | 徳田仁司  | 087-849-0062 |
| 761-8042 | "    | 御厩町  | 檀紙小    | ○ | 亀井伸治  | 087-885-1715 |
| 760-0061 | "    | 築地町  | 築地小    |   | 福家親夫  | 087-831-7188 |
| 760-0080 | "    | 木太町  | 木太小    |   | 南原志伸  | 087-861-6337 |
| 763-0093 | 丸亀市  | 郡家町  | 郡家小    |   | 金山達夫  | 0877-28-8401 |
| 763-0051 | "    | 今津町  | 城坤小    | ○ | 寒川英樹  | 0877-24-4705 |
| 762-0007 | 坂出市  | 室町   | 東部小    |   | 丸野忠義  | 0877-46-0234 |
| 762-0007 | "    | 室町   | 東部小    | ○ | 田井敏之  | 0877-46-0234 |
| 761-4115 | 小豆郡  | 土庄町  | 戸形小    |   | 日向光徳  | 0879-62-0108 |
| 761-4411 | "    | 内海町  | 安田小    | ○ | 役重和雅  | 0879-82-2012 |
| 761-0901 | 大川郡  | 大川町  | 富田小    |   | 小倉健治  | 0879-43-2016 |
| 769-2301 | "    | 長尾町  | 長尾小    |   | 古市聖治  | 0879-52-3181 |
| 769-2101 | "    | 志度町  | 志度小    |   | 三井重彰  | 087-894-0041 |
| 769-2713 | "    | 白鳥町  | 福栄小    | ○ | 高田宏隆  | 0879-27-2323 |
| 761-0130 | 木田郡  | 庵治町  | 庵治第二小  |   | 古沢博美  | 087-871-5110 |
| 761-0704 | "    | 三木町  | 白山小    | ○ | 小笠原学  | 087-898-0257 |
| 761-1404 | 香川郡  | 香南町  | 香南小    |   | 赤松晃二  | 087-879-2269 |
| 761-3110 | "    | 直島町  | 直島小    |   | 西康比古  | 087-892-3007 |
| 761-1703 | "    | 香川町  | 浅野小    | ○ | 小原敏昭  | 087-889-0215 |
| 761-1703 | "    | 香川町  | 浅野小    |   | 岡佳代   | 087-889-0215 |
| 761-1701 | "    | 香川町  | 大野小    |   | 野土裕彦  | 087-885-2165 |
| 761-1706 | "    | 香川町  | 川東小    |   | 小比賀節子 | 087-879-2012 |
| 761-2402 | 綾歌郡  | 綾歌町  | 岡田小    | ○ | 松下繁美  | 0877-86-3004 |
| 761-2305 | "    | 綾南町  | 滝宮小    |   | 竹下和男  | 087-876-1183 |
| 769-0208 | "    | 宇多津町 | 宇多津北小  | ○ | 波多誠   | 0877-49-2000 |
| 769-0103 | "    | 国分寺町 | 国分寺南部小 |   | 田中直樹  | 087-874-1160 |
| 766-0017 | 仲多度郡 | 満濃町  | 長炭小    |   | 山下清明  | 0877-79-2006 |
| 764-0032 | "    | 多度津町 | 四箇小    | ○ | 森井信一  | 0877-32-2517 |
| 764-0026 | "    | 多度津町 | 豊原小    |   | 山田泰二  | 0877-32-2050 |
| 768-0012 | 観音寺市 | 植田町  | 常磐小    |   | 大西孝典  | 0875-25-2988 |
| 769-1504 | 三豊郡  | 豊中町  | 上高野小   |   | 西谷則一  | 0875-62-2064 |
| 768-0040 | 観音寺市 | 柞田町  | 柞田小    | ○ | 臼杵優   | 0875-25-3621 |
| 769-1611 | 三豊郡  | 大野原町 | 大野原小   |   | 高橋克佳  | 0875-54-2029 |

# 連 絡 網

香社研連絡網



# 平成 12 年度の年間計画



## 「生きる力の育成」を目指す

## 社会科の基礎・基本を見つめた特色あるカリキュラムの編成

## ～社会科基底単元の構想と実践を通して～

香川県小学校社会科教育研究会

## Ⅰ 研究主題について

## 1 今なぜ「社会科の基礎・基本」から「特色あるカリキュラムの編成」なのか

社会科学学習の究極の目標は、社会認識を通して、自分を知り、他人を知る人間観の育成である。新学習指導要領が告示されて1年を越え、新教育課程実施へ向けて確かな歩みが求められている。「豊かな人間性や社会性の育成」、「自ら学び、考える力の育成」、「基礎・基本の確実な定着と、個性を生かす」、「各学校が創意工夫を生かし特色ある教育を展開」をねらいとし、子どもに「生きる力」と「ゆとり」をとの提言を踏まえたこの新教育課程の中で、社会科学学習をどのように展開していけばよいのか。昨年度より、中心テーマを教育改革の具現化の姿としての「社会科学学習をどう構想・実践するか」に置き実践研究を進めてきている。

そうした中心テーマを定めたときに、課題としてきたものは、次の四つである。

## (1) 教科固有の本質に立つ社会科学学習

時間的にも、精神的にもゆとりのある教育活動を展開する中で、じっくり学習し、その確実な定着を図ることを求めるとき、社会科の基礎・基本をどのように設定すればよいのか。

## (2) 特色ある教育・学校づくりを進める社会科学学習

点としての実践の在り方を越え、新教育課程が求める「各学校の特色ある教育」の核としての展開を求めるとき、領域と配列を考えた社会科のカリキュラムをどう創り上げればよいのか。

## (3) 総合学習・生涯学習に生きる社会科学学習

知識と生活との結びつき、知の総合化の視点を重視し、社会科で得た知識や技能などが生活において生かされ、総合的に働くようにすることを求めるとき、社会科の基礎・基本をどのようにとらえればよいのか。

## (4) 社会科の学びの過程で「自己実現」、「豊かな人間観の形成」を求める教育活動の在り方

「生きる力の育成」を基調とし、調和のとれた人間性や社会性の育成を目指した「自己実現」や、より多くの可能性で自分や他人を観ることのできる枠組みである「人間観」を豊かにすることを求めるとき、教育課程の中でどう社会科の学びをとらえ、教育活動全体に生きて働くようにするか。

このような課題の上に立ったとき、今、どうしても「社会科は何を大切にするのか」を「新教育課程全体の中での位置づけや理念の具現化」という文脈の中で考え、「点から線、線から面へ」と実践をつないでいくことが、大切になってこよう。

「社会科学学習をどう構想・実践するか」を、「生きる力の育成」を主眼にした「社会科の基礎・基本を見つめた特色あるカリキュラムの編成」として研究主題に示しているのは、これまで述べてきた課題を踏まえてのことなのである。

## 2 昨年度までの研究の成果を広げ、深める

## (1) 全社研香川大会の成果と昨年度の研究

一昨年度の全小社研香川大会では、約3000名もの参加者を得て、3校の先進的な取り組みを全国に問うことができた。昨年度からは、3校の取り組みに学びつつ、その成果を実践として広げ、深める時期であるととらえ、3校の社会科授業の基底となった「社会科基底単元の構想～内容の厳選と課題単元による展開～」をもとにしながら、各地域・学校の特色が生きる展開を研究・実践してきた。各地域がその研究の視点や力点を定めつつも、交流の土俵を社会科基底単元に同じくすることで、全小社研の成果を広げ、深められると考えた。社会科基底単元の構想が、実践の裏づけを得て、修正されると同時に、より詳細なものへと向かうような研究活動を展開してきたのである。

## (2) 昨年度の成果から本年度へ

夏季研修会の折に見られたように、担当者を中心とした会員による演習等も実施し、基底案に基づく社会科実践の趣旨をより広げる試みを行った。研究委員会では、担当者が具体的な授業を踏まえ、より実践



的な意味での成果や課題は何かを探った。その過程にテーマを共有した実践や研究を行う「定例研修会」、  
「基礎単元実践推進委員会」が位置付いてきた。

こうした歩みのなかで、着実に全小社研の成果が、香社研の研究に生かされてきているととらえている。  
そして、社会科基礎単元の作成が意図する「香川県下のどの学校もが、社会科学習の教育課程を編成する  
にあたり、社会科単元の基底として活用する」に、少しずつ近づいてきているという確かな手応えを感じ  
ている。本年度は、1時間ごとの具体的な展開やそれを支える情報・資料の整備にも目を付けた研究を進  
めたい。その過程で、前項の四つの課題とのかかわりの上で、「基礎・基本の確かな定着とは」、「各校の  
特色あるカリキュラムの編成とは」ということを実践的に明らかにしていきたい。

### 3 研究実践にあたっての手がかりとして

#### (1) 真の学力構造から社会科の基礎・基本を考える

##### ① 真の学力構造を人間・能力・知識からみる

教育の新たな枠組みを構築し、今後を見通した実践の姿を追求していく上での前提となる「学力の構造」  
について、これまで次のようにとらえてきた。以下は、「真の学力を人間・能力・知識からみる」と項目  
を付け、学力構造について提案してきた内容である。

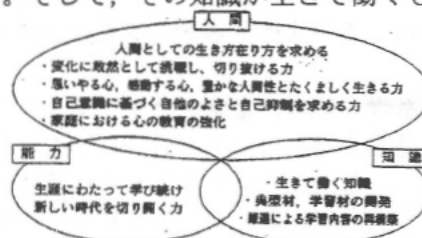
前回の教育課程の改訂で、新しい学力観として、「知識の量的な習得への偏りを修正して、子ども  
の成長・発達や将来の生活に生きて働く能力（学ぶ意欲・思考力・表現力・判断力）や資質（創造性  
・豊かな個性）の育成を重視する」という内容が提唱され、その実践が進められてきた。一人一人の  
学ぶ意欲を大切にしながら、思考力・判断力・表現力などの能力育成を重視してきたのである。社会の  
変化に主体的に対応できる能力を育成することは、21世紀を生きる子どもにとって必須条件である。

その一方で社会の構成員であり、自らの努力で公民的資質を高めなければならないという面もある。  
そこで、「真の学力」として、思考力・判断力などの能力育成にとどまらずにそれらの能力を生かして、  
人間としての生き方・在り方を考える力を求めたい。総合的に生きて働く力としてとらえるので  
ある。単に社会事象を知る、人々の営みが分かるだけでなく、それらのよさが分かり、自分を理解し、  
社会の構成員としての誇りをもつ。課題に対しては、自ら社会に働きかけられるような姿を重視する。

「真の学力」では、これにさらに知識を加える。知識については、量的な習得への偏りを改めな  
ければならないとしても、知識を軽視してはならない。知識と能力とのかかわりは、能力を育てる知識  
と、新しい知識を得る能力の二つがある。思考力・表現力などの能力は、子どもの発達を促す内容で  
もつ知識を媒介として育てられ、新しい知識を獲得していく。そして、その知識が生きて働くもの  
として、より高次の思考力・表現力などを育てる。

以上、述べてきたことを踏まえ、真の学力の構造を  
「生きる力」の育成から右図のようにとらえる。

真の学力育成の中核を、人間とする。人間としての  
生き方・在り方、もっといえば、「自他ともに生き、  
互いに人間としてのよさを出し合い、認め、高め合う」  
ことを中核とする。そして、それを支えるものに、能  
力と知識を考えるのである。



この学力構造をもとに、社会科の基礎・基本もとらえたい。「時間的にも、精神的にもゆとりのある教  
育活動を展開する中で、じっくり学習する」と示されてはいるが、時間数は、削減されているのが現実で  
ある。その中で、何を基礎・基本ととらえるかの視点は、真の学力構造から導かれる「人間としての生き  
方・在り方」が中核であり、それを支える「学ぶ意欲に支えられた能力」と「生きて働く知識」であろう。  
何を「基礎・基本」とするかの論議と実践の追求にあたっては、この構造を踏まえながらを前提としたい。

これらは、社会科の本質である「社会認識を深め、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形  
成者としての公民的資質を育成する」とことと結びつけた「社会認識の内容としての知識・理解」、「社会認  
識を深める諸能力」、「公民としての社会的態度・能力」と軌を一にするものと考えている。

##### ② 学力構造の中核となる人間を「自己実現」と「人間観」からとらえる

今の子どもたちを取りまく諸問題を念頭に置いたとき、真の人間づくりをどう図るかという課題に「正  
面から取り組んだ学習論」とそこに立つ授業過程の開発が急務である。そのような趣旨から学力の中核「人  
間」の鍵となる要件として、「自己実現」と「人間観」を挙げておきたい。

【自己実現】 自分自身に対して働きかけ、それまでになかった何かを、自分自身の上に実現していくこ  
とである。そうした何かの実現は、価値的で、人間としての成長・発達として考えられるものである。1  
時間の授業の最初と最後で、どういう自分について深く認識できるようになったかを見つめていきたい。

【人間観の形成】 人を観る一般的な枠組みのことを指す。人の行為を単一の可能性で見たり、決めつけ  
たりするのではなく、どこまで多くの可能性で観ることができるかと言いかえることもできる。このよう  
な「生きる力」としての「人間を見つめる力」を学力の中核としてとらえたい。

## (2) 基礎・基本のとらえ方の基調を考える

教育内容を「基礎的・基本的なものに精選する」は、教育課程の改訂のたびに繰り返し強調されてきたことである。今回が3度目になる。精選を「厳選」と言い換えても、その基調がかわらなければ従来の踏襲にすぎず、お題目に終わってしまうことにもつながる。そういった点から、基礎・基本のとらえ方の基調を考えるということで、以下の4点を挙げ、今後の研究・実践の手がかりを示したい。

### ① 教材・学習材をめぐる

従来、「基礎・基本」の徹底や定着を目指した学習の実践があいまいになってきたのには、各教科において学習の目標とされている「児童が習得すべき教科の基本的な概念や、それらを使用する能力・技能などの『教科内容』」と、これらの学習のために利用される「教材・学習材」との区別がつけられず、混同されていることがあるのではないだろうか。教科内容を減らすことと、教材・学習材を少なくすることと同じと考えられてしまっている傾向がある。

教科内容の厳選と教材とは別の次元の問題である。教材をむやみに削減し、学習材を限定してしまうことは、内容を子どもにとってかえって難しいものにしたり、つまらない無味乾燥なものにしてしまうおそれがある。その定着や見方・考え方の転移を浅いものにしてしまうことも考えられる。

教科内容を厳選することが、一つ一つの内容について学習する時間を十分に確保することにつながるとともに、多様な興味ある教材・学習材を使って分かりやすく内容を説明したり、深い多面的な追求をしたりすることを可能にすると考えたい。

### ② 基礎・基本の習得をめぐる

基礎・基本は、「繰り返し学習する」ことによって習得されるという考え方に対し、その基調から転換を図りたい。半ば無意識的・自動的に遂行される技能の習得には、「繰り返し学習する」ことが必要ではあるが、より高次の知識の習得には、別の方法が必要である。

基礎・基本の学習と「自ら学び自ら考える」体験的で、課題解決的な学習とが、何か別物のようにとらえられている部分がないだろうか。「表現と操作」に基づく「自らの力で論理的に考え判断する」、「自ら調べ、まとめ、発表する」といった活動は、「基礎・基本」の学習においても必要なことで、これこそが基礎・基本の確実な定着を図る方策だと考えたいのである。

### ③ 基礎・基本の定着をめぐる

基礎・基本は、子ども一人一人のその後の学習や生活に生きて働く力となったとき、初めて意味をもつ。このように考えたとき、基礎・基本の定着をめぐるには、相対性や多面性、弾力性という点から授業展開を考えることが必要になる。

|     |                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 相対性 | 基礎・基本とは、何かを支えるものとして意識される必要がある。本時の学習の成立を可能にしていることは、既習のどのようなことであるかが明らかにされて初めて、基礎・基本として働いたことを実感できることとなる。また、そのような体験を重ねることによって、新たに学習したことが次なる学習のどのようなところで、どのように生きて働くのかをつねに意識しながら学習に臨むことができるようになる。                       |
| 多面性 | 基礎・基本とは、知識・理解や技能・表現といった狭い部分に限定されるのではなく、思考・判断、関心・意欲・態度を含め、多様な資質や能力ととらえることが大切である。これについては前項で述べたとおりである。何かを「知っている」「分かる」ということも重要である。それとともに、自分で工夫しながら学習活動を発展させたり、自分の持っているよさをフルに使いながら学習を展開するなどという幅広い資質・能力面を授業展開のポイントとしたい。 |
| 弾力性 | 基礎・基本は、言うまでもなく一人一人の子どもに確実に身に付けられ、生きて働くものとなって初めて意味をもつ。ところがこれまで、ともすると一定概念の習得として学習集団のまとめがあり、ここには個の基礎・基本という部分が見えにくいという実態があった。個の基礎・基本の成立の上に、初めて集団における一定の概念の習得があることへの転換が求められる。                                          |

## Ⅱ 研究の視点と実践への方途

### 1 学習内容の厳選による、教材の再構成とカリキュラムの構想 ～基底単元の構想～

#### (1) 「ゆとり」と「学習内容の厳選」

中教審・教課審の答申の中で、学習内容の厳選の必要性が強調された。自ら学び、自ら考えるなどの「生きる力」の育成を基調とする教育を進めるためには、「ゆとり」のある教育課程を編成することが不可欠であり、どうしても学習内容の厳選を図る必要があるとされた。その具体化の姿としての新指導要領では、単なる知識の伝達や暗記に陥りがちな内容、各学校間学年間・教科間で重複する内容、学校外での活動や将来の社会生活で身に付けることが適当な内容などを削減したり、取り扱いを軽減したりされている。その上で、さらに「指導計画の作成と各学年にわたる内容の取り扱い」の中で、地域の実態や児童の興味・関心などに応じて、厳選して取り上げるようにすることが強調されている。

この学習内容の厳選は、「不易と流行」を踏まえ、学校で身に付けるべき基礎・基本は何かなどを問いつつ徹底して行うべきであり、特色ある学校づくりを進める地域・学校プランに基づくカリキュラムを編成する上で、新指導要領告示後も、社会科教育の改善にあたって急務かつ原則となるものである。

#### (2) 厳選と新社会科の構想

厳選は「ゆとり」を生み出すものになることから、当然学習内容を削っていく必要がある。と同時にこれまで積み上げてきた総合学習、社会科学学習の成果を基盤に、真に子どもの課題意識と学習内容の高まりを生み出す社会科学学習の基礎・基本に立つ教材を「厳しい目で選び、新たに創り上げていく」過程でもある。学力の構造を踏まえ、「生きる力」を育成する、さらに社会科の基礎・基本からカリキュラムを創っていく立場から、厳選をどのような点から考えてきたか、また、そのことと新社会科の構想とのかかわりについてはどうか、根本としたものをいくつか挙げておきたい。

##### ア 総合学習とのかかわり

学校課題の解決を図り、学校教育の柱となる総合学習の実践の中にどのように社会科学学習が組み入れられているか。組み入れられていない社会科学学習にどう軽重をかけつつ、子どもの課題意識を大切にしたい展開を考えるか。

##### イ 教材開発の視点の明確化（別項で詳述する）

「不易」と「流行」を見つめ、社会の変化を見通した学習内容とするには、どのような視点から基礎・基本の内容をとらえ教材開発していけばよいか。また、学年の発達に応じて、視点の関連をどう図るか。

##### ウ 子どもの認識の系列についての再考

「易から難」、「単純から複雑」、「近から遠」、「旧から新」など、従来の教材配列のもととなる考え方が、常に子どもたちの学びにとってふさわしいものかについて再考する。  
農業単元や工業単元といった領域にこだわった単元の在り方も見直す。

##### エ 小・中、学校外における関連

歴史学習においては、通史を二度行わないという表現が中教審答申などで挙げられている。小学校らしい歴史学習をどう展開するかは、厳選にあたっての大きな課題である。また、完全学校週5日制に向けて、学校外の学習との関連も視野に入れる。

#### (3) 厳選と新社会科の構想にあたっての基本的な考え方

##### ① 学習内容の選択から社会科の基礎・基本を考える

##### ア 社会の変化を見通した教材開発の視点の明確化

これからの社会を展望したときに、我が国の社会は様々な面での急速な変化が予測される。それらの変化に対応する教育の在り方が当然模索されるべきである。

反面、教育においては、どんなに社会が変化しようとも「時代を超えて変わらないもの」を大切にしておくてはならない。社会の進展の中で「不易」と「流行」を十分に見つめつつ、教材として具現化していくことで、これからを生きる子どもたちの生き方や在り方となって身に付いていくであろう。「国際化、情報化、科学技術の進展等の変化」に対応すること、また、「我が国の歴史や伝統への愛情や、豊かな人間性を希求し、人権を尊重する心」を培うということなど、今の教育、また社会科に託された役割から教材開発にあたっては次の五つの視点を大切にしていきたい。



|     |                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際化 | 国際化社会が進展し、世界の中の日本人としての生き方が求められている。広い視野をもち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化をもつ人々と共に生きていく資質や能力の育成を図ることが必要である。                                 |
| 情報化 | 様々な情報が氾濫し、マルチメディア時代となる将来、情報を主体的に処理する力が求められている。情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人的な能力、並びに人間関係の希薄化など情報化の陰の部分も勘案できる資質等の育成が求められる。                  |
| 環境  | 環境問題については、国内の環境にとどまらず、地球環境の危機としてとらえなければならない状況となっている。学校教育では、かけがえのない国土や地球の環境に目を向け、人間と自然が共存していく地球としていくために具体的な行動をとる子どもの育成が望まれている。           |
| 人間化 | 子どもたちが将来自己実現を図りながら、変化の激しい社会で生きていく上での基準となる生き方の形成が求められる。豊かな人間性、人権意識、正義感や公正さを重んじる心、自己を律しつつ他者と協調するなどの心を尊いと感じることのできるような人間として育てていくことが重視されている。 |
| 文化  | 我が国が形成されてきた歴史、先達が残してくれた芸術、文学、民話、伝承などを学び、これらを大切にしていこうとする心を養うこと。それを現代に生かし、新たな文化の創造者・発信者として生きていこうとする資質の育成が求められる。                           |

## イ 人間観を育てていく教材の開発

社会科で目標とされる「内容についての知識（内容知）」や「方法についての知識（方法知）」をもとにして、「人間についての知識」の重視が求められている。社会の変化を見通す教材の視点とともに、**生き方や在り方自体がそこに物語られている教材の開発**を目指したい。

歴史学習を例にとってみる。いくつかの事象をつないで、時代の特徴やイメージについて、自分なりの考えを創り上げていく。その学習の中に、「その時代を生きた人にも、様々な悩みがありそれを乗り越える工夫や喜びがあったはずである」と、そのような人間の心の入ったドラマが描かれていけば、そこから子どもたちは一人の人間の生き方や在り方を考えていけるはずである。時代をたくましく生きる姿に感動し、自らが生きる血や肉にすることができよう。

学習方法の中で、自分で自分を育てよう、たくさんの友達の中で育てようという姿勢で学習方法を見直すとともに、もっと**積極的に人間としての生き方を、感動とともに考えられる教材の開発**を視野に入れたい。このことが、学力構造の核であり、社会科の基礎・基本とする人間としての生き方・在り方を、子どもたちに見いださせることにつながると考える。

## ウ 基本課題と具体課題

現代の教育課題、また社会科に託された役割から、人間観を育てていくことを含めて教材開発の五つの視点「国際化」「情報化」「環境」「人間化」「文化」を大切にする。これまで社会科の教材を構成する上で軸となってきたものも入れて、社会科の学習内容の選択・厳選による教材の再構成においては、次の四つを「基本課題」として設定したい。「世界の中の日本人」「地球環境にやさしく」「くらしをひらく生産と消費」「地方からの文化発信」である。

この基本課題の求める姿が明確になるように、より分化した課題、「具体課題」も下のように設定する。

|                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 「世界の中の日本人」     | — 「国際関係と平和の確立」        |
| 「地球環境にやさしく」    | — 「生命・財産・資源の保護・保全」    |
|                | — 「環境の保護・保全」          |
| 「くらしをひらく生産と消費」 | — 「生活圏の広がりとは地域とのかかわり」 |
|                | — 「生産・流通・消費のしくみの変化」   |
|                | — 「地域環境と人々の生活」        |
| 「地方からの文化発信」    | — 「人権の確立と民主政治」        |
|                | — 「社会の発展と人間の歩み」       |

## ② 子どもが自ら学ぶという点から社会科の基礎・基本を考える

### ア 子どもの課題意識の重視

子どもの課題意識は、必ずしも領域の枠のなかに収まるものではない。生きて働くという視点で考える時、課題解決のためには、ますます多様な領域の内容や方法が必要となってくる。領域という枠組みをはずした学習の場が設けられていることが、子どもの学習意欲を高め、知識構造の変容につながる。

今回、教課審の審議のまとめの中で改善の具体的事項として「生産活動と消費生活に関する内容を集約統合」、「・・・運輸の働きについての内容は、農業や工業などの内容に関連」などが求められ、新指導要領でその具体的な姿が示されているのは、枠組みをはずして、子どもの課題意識を重視しようということと対応していると考えたい。子どもたちの課題意識の連続と深まりの上に立ち、思考力と表現力をつけていくためには、領域の枠を越え、学習内容を開く力を発揮できる授業を構想・実践する必要があると考える。それは一つの単位において、じっくりと「ゆとり」をもって課題に取り組むことができ、自らの確かな知識構造の変容を認めていける学習の場でもある。

### イ 領域単位から課題単位へ

現在、子どもの学習内容は、文部省指導書・解説書の内容順に書かれた教科書どおりの構成といった領域単位になっている。この領域単位から課題単位へ移行することを大切にしたい。課題単位とは、学年の枠や単位間の枠を取り払い、一つの課題に向かって子どもの意識が連続しつつ、「基本課題・具体課題」の解決を図るよう構成されたものである。

この課題単位によって、従来の教科書単位が限定してしまう領域的で系統的な内容を子どもの課題や地域・学校の実情・課題に応じた単位構成、さらにはカリキュラムに組み替えることが可能となる。

## ③ 厳選による教材の再構成 年間計画を含めたカリキュラムづくりという点から

子どもたちが調べたい、学びたいと感じる内容と学び方を大切にするには、時間のゆとりが必要である。しかし、教材のすべてに同様のゆとりをもたせていくことには、難しい部分がある。どうしても、子どもの立場に立った「ゆとりをもたらす」厳選による教材の再構成・年間計画づくりが必要となる。この社会科のカリキュラムづくりにあたっては、教科書を中心として基礎的基本的な事項や能力を徹底して学習する単位と、それを基にして深めていく部分に区別した単位配列や、教材によっては選択して学習するなど軽重をつけていくことが必要である。教材提示をしてきちんと学べる教材単位、自ら学ぶ学習である課題単位のバランスを大切にしたい年間計画をつくっていく。この教材単位、課題単位については、次項でさらに説明することにする。

## (4) 厳選を図るための具体的方策 — 社会科「課題単位」「教材単位」の実践 —

### ① 子どもの課題意識と基本課題・具体課題との接点を求める課題単位

身近な事例に直にあたり、自ら学び、考えることのできる「創る学習」の展開が今求められている。従来の領域にこだわった教材の構成（領域単位）から、子どもの課題意識に基づいた構成（課題単位）へと転換する。これまで本項で述べてきた厳選の基本的な考え方に立って、カリキュラムづくりの柱をどう置くかの方策については、次のページの図にあるようにまとめているとおりである。

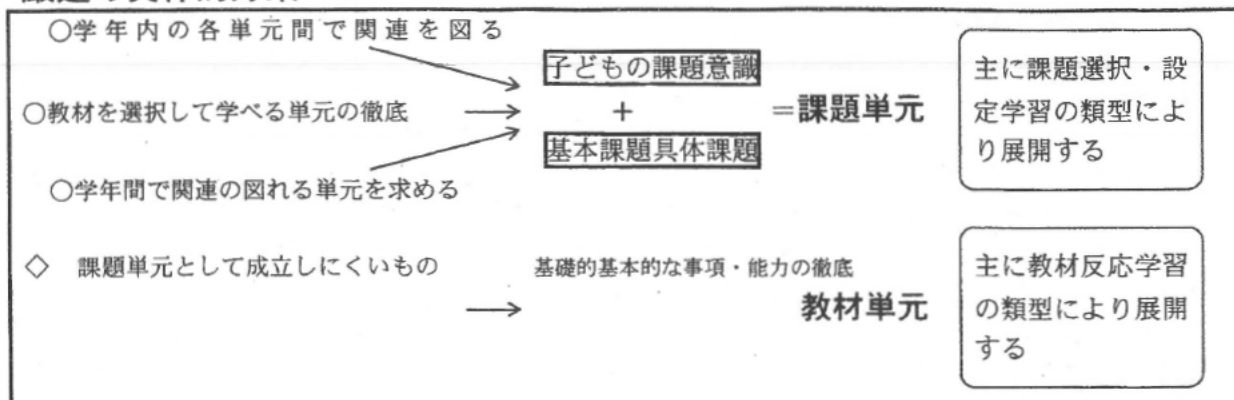
この課題単位づくりにあたっては、「子どもの課題」と、「現代の教育課題などを踏まえた教材開発にあたっての課題」との接点を重んじる。そのことからの内容の再構成を考えると、学年間の関連や選択と同時に、学年を越えて継続的に追究される課題単位も構想されていく。3年生からの課題が4年生に引き継がれるという構想や、3年生から6年生、それぞれにその課題について発展的に学んでいくことも視野に入れて研究を進めていきたい。

### ② 基礎的基本的な事項や能力をはぐくむ教材単位

課題単位での子どもの豊かな「創る学習」を支えるものが「学び」を重視した教材単位の展開である。この単位では、基礎的基本的な事項や能力の育成を徹底して行う。地図や資料の正確で有効な読み取り、事項や用語の把握などを図り、きちんと分かることをねらいとする。教師は、子どもの教材への反応を見極め、「個別化」のための支援・援助を行うことを主な役割とする。

以上示した「課題単位」と「教材単位」の組み合わせにより、新社会科を構想し、「社会科の基礎・基本からカリキュラムを創る」という研究実践を進めたい。

## 厳選の具体的方策



### (5) 厳選による教材の再構成 「社会科基底単元」の構想

以上、(1)～(4)で述べてきたことをもとに、厳選による教材の再構成をプランとしてどうしているかについて示したい。本研究会では、香川県下のどの学校もが、社会科学学習の教育課程を編成するにあたり、社会科単元の基底とするとということから「社会科基底単元」を設定している。これは、本会がこれまで研究実践を進めてきた「内容の厳選」と「課題単元構想」を軸に構成しており、既に告示されている新学習指導要領にも準拠したものである。本年度までもこれを基底に、各地域・学校の課題に応じ、「生きる力の育成」を理念とした、確かな社会科学学習を展開するべく、実践を深め広げてきている。

昨年度、これまでの実践も含めて、「新学習指導要領準拠 社会科基底単元の構想 一内容の厳選と課題単元による展開一」を冊子にまとめた。また本年度夏までには、社会科基底単元実践推進委員会の編集による事例集を発刊する予定である。具体的な実践の姿については、これらを参照していただきたい。

前者の冊子の概要について、以下のように説明をしておく。なお、本提案では、社会科基底単元【単元名一覧】以外は、紙面の都合上その一部分だけを載せておくことにする。

#### 社会科基底単元 一課題単元と教材単元による一 【単元名一覧】

学習内容の厳選による、教材の再構成とカリキュラムの構想にあたって、本県として基底となる単元名の一覧である。これまでの実践の成果や下に挙げた「教材の再構成」などの手順を踏まえつつ、「教課審の審議のまとめ」、「新学習指導要領の目標と内容」を考慮して作成したものである。

#### 基本課題・具体課題からみた社会認識の内容と系統

新学習指導要領に示されている社会認識の内容を、基本課題・具体課題からみたときにどのような構成になっているのかを整理したものである。この課題をもとに、学年内・学年間で関連を図る内容を考慮し、課題単元の構想をしていく。総合学習を実践するにあたって、社会科の内容を統合しようとするときの参考ともなる。自校の総合学習がどのような教育課題の解決を目指しているかに応じて、そこに組み入れる社会科の内容をどうとらえればよいかが分かるよう工夫している。

#### 基本課題からみた 厳選による教材の再構成

基本課題・具体課題とのかかわりの上で3～6年生の教材配列、単元づくりをどうするかを表したものである。社会の変化を見通した教材開発の視点と、これまで社会科の教材を構成する上で軸となってきたものをもとにした、基本課題・具体課題から、教材をどうみかを一覧できるように表にしているところに特徴がある。

#### 社会科単元基底案 課題単元・教材単元の概要

単元名一覧に示されたそれぞれについて、その概要を記している。大枠を示すことで、各地域、学校で創意工夫して実践できるようにしている。すでに述べた基本課題・具体課題からみた目標を示しているところに特徴がある。



## 社会科基底単元－課題単元と教材単元による－【単元名一覧】

### 3年生

- I 課題単元 「まちをたんけんして、人びとのくらしをさぐろう」
  - ・市町の地形，土地利用，交通，公共施設を絵地図にする
  - ・他地域の友達と絵地図を交換する
  - ・いろいろなまちのくらしがあることを探る
- II 地域選択 「まちのくらしをつくるしごとと，売るしごとからしらべてくらべよう」
  - ・わたしたちのくらしとものをつくるしごとをしらべよう  
課題単元として実践する学校と教材単元として実践する学校との交流によって展開
  - ・わたしたちのくらしと売るしごとをしらべよう  
課題単元として実践する学校と教材単元として実践する学校との交流によって展開
- III 課題単元 「まちのようすやくらしがかわったことを絵地図にしよう」
  - ・くらしのようすや地域のようすが変わったこと
  - ・昔から変わらないもので，残されているもの
  - ・くらしをよくするよう変えた人物，守ってきた人物

### 4年生

- I 課題単元 「わたしたちのくらしを守るしごとのようすを絵図にして調べよう」
  - ・くらしの安全を守るしごと（交通事故・火災）
  - ・環境を守るしごと（廃棄物・下水）
- II 課題単元 「わたしたちのくらしを高めた人たちのはたらきをしらべて流れ図にしよう」
  - ・くらしを高めるしごと（上水道）
  - ・水を求めてきた先人の努力
- III 課題単元・教材単元  
「県のようなようすを調べ，他の土地とくらべて，よさをイラストマップにまとめよう」
  - ・県の特徴ある地域の調べ（含 伝統的な技術を生かした生産）
  - ・他地域の特徴あるまちづくりからみた県の特徴
  - ・地図の見方・読み方，資料の見方・読み方（教材単元として展開）

### 5年生

- I 課題単元 「スーパーマーケットから農業生産のようすを調べよう」
  - ・教材単元「わたしたちの国土の地図を開いて，人々のくらしを調べよう」を単元の中に組み入れて実践（環境，地形，生産と交通【人口】，土地利用）
- II 課題単元 「商店街の品物から工業製品の生産のようすを調べよう」
  - ・教材単元「わたしたちの国土の地図を開いて，人々のくらしを調べよう」を単元の中に組み入れて実践（環境，地形，生産と交通【人口】，土地利用）
- III 課題単元 「香川の産業を支えている職人技を調べ，新聞にして情報発信しよう」

### 6年生

- I 課題単元 「地方史から出発して，日本の歴史を調べ，年表にしよう」
  - ・地域に残る文化財や先人とのつながりのある歴史上の人物や文化遺産と結んで，歴史に対する興味をふくらまそう
  - ・我が国の歴史に残る先人や文化財から選んで，自分の生き方とつないで考え，友達と交流して年表にしよう（教材単元として展開）
- II 教材単元→課題単元  
「瀬戸大橋（例）ができるまでと，できてからを調べ，政治とのかかわりの新聞にし，討論しよう」
- III 教材単元→課題単元  
「世界の中の日本人としての生き方を論文にしよう」
  - ・日本と深く結びつく国々と人々のくらしの情報を集めよう
  - ・情報を整理して，地球環境と世界平和についての論説文を書こう

～社会科基底単元の構想（香川県版）より抜粋～

## 基本課題・具体課題から見た社会認識の内容と系統

| 基本課題      | 地球環境にやさしく                                                                         | 具体課題                                                                                                                                  | 環境の保護・保全                                                                        |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| (社会認識の内容) |                                                                                   |                                                                                                                                       |                                                                                 |
| 学年        | 地理的内容                                                                             | 歴史的内容                                                                                                                                 | 公民的内容                                                                           |
| 3年<br>4年  | ○地域の人々の生活は、自然環境と深い関係がある。<br>○飲料水等の確保の対策や事業は地域の健康な生活の維持と向上に役立っている。森林やダムはその点で重要である。 | ○自分たちの市や町を中心とした地域の自然や社会環境の移り変わりや生活の変化<br>○廃棄物の量や質が変化してきている。また、処理の方法も変わってきている。<br>○地域の人々の生活の向上と安定のために、先人が地域の開発を行ってきた。その努力は、今も引き継がれている。 | ○地域の人々は、協力して生活の向上や住みよい環境づくりに努力している。<br>○廃棄物の処理についての対策や事業は、地域の健康な生活の維持と向上に役立っている |
| 5年        | ○国土の保全や水資源の涵養などのために森林資源が大切である。その育成や保護が大切である。                                      | ○公害の防止にあたって、工場・国・地方公共団体が対策を進めてきた。<br>○人々も公害の防止・対策に協力しなければならない。                                                                        | ○生活環境を快適にし、国民の健康を保護するため、公害の防止がきわめて大切である。<br>(具体事例：大気汚染、水質の汚濁)                   |
| 6年        | ○環境破壊は自国のみにとどまらず、国境を越えて進行しており、各国で環境の保護に努めることが肝要である。                               | ○地球温暖化防止などについては各国政府・国際団体が会議を開き、計画を立てて、地球規模で対策を進めてきている。                                                                                | ○環境の保護保全のために国際連合は大きな役割を果たしている。我が国も国際社会の平和と進展のために、果たさなければならない重い責任と義務がある。         |

### (教育課題からみた解説)

具体課題「環境の保護・保全」を通して解決を図る教育課題は「環境」である。本具体課題は、主に自然環境を対象とする。環境の問題は国内にとどまらず、地球環境の危機としてとらえなければならない現状となっている。学校教育では、かけがえのない国土や地球の環境に目を向け、人間と自然が共存していくために具体的な行動をとる子どもの育成が望まれる。

それぞれの地域の自然条件や様子を調べることで、子どもたちは自然の美しさや大切さに気づくであろう。また、日本の国土そして地球全体の自然の条件やそれに合わせた人間の営みを知ることにより、自然破壊の恐ろしさと、環境の保護・保全の大切さについて学んでいくと考える。

さらに環境との調和を求めて、自然と共に生きようとしてきた、先人の長い間の工夫や努力のあとを探り、自分たちの生活の背景や今後のあり方を地球規模で考えることをここでは目指している。

～社会科基底単元の構想（香川県版）より抜粋～

## 社会科単元基底案 課題単元・教材単元の概要

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 課題単元 | 4年 わたしたちのくらしを高めた人たちのはたらきを調べて流れ図にしよう |
| 主張点  |                                     |

私たちの郷土は、先人の水を求め、大切に活用し開発してきた業績に支えられ現在に至っている。水を求めた開発の歴史と人物の働きを地域の移り変わりの中に位置づけ調べていく。今の豊かで住みよいくらしを支える水を生み出す過程と地域の願いを一体として扱うことが、今の自分のくらしと水のかかわりを見つめ直すことにつながる。水不足を克服する地域の課題の明確化、水源確保に協力してくれる他地域への感謝など、自分の地域の水道の仕組みの理解を超える、香川ならではの地域性を生かした課題単元の構想である。

### 教育課題から見た社会認識

- 香川県は雨が少なく、水を安定して得たいという願いの実現のために昔から多くの人々が知恵をはたらかせ、努力してきた
- 香川用水の開通や、大型ダムの建設などによって水事情が好転してきた結果、人々の水に対する意識が薄らいでおり、給水量が増えても使用量は増加の一途をたどり、新たな水源を確保しなければならないという悪循環を生んでいる
- 我々も限られた少ない水を有効に使ってきた先人に学び、現在の時代にあった水の有効利用の方法について考えていく必要がある。

### 単元の概要

| 学 習 方 法                                      | 学 習 内 容                                                                                                               |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 地域を歩き、水に関係する事物を調べる。                        | ○地域には、ため池や用水路、新田、香川用水など人がつくった水に関係するものがたくさんある。<br>○香川県は雨が少なく昔から水不足で苦しんできた。                                             |
| 2 調べた事物の移り変わりを年表に表現する。                       | ○昔の人々は、地形や水の特性を生かして、用水路をつくってきた。水を無駄なく有効に分配するために、水を共同で管理してきた。                                                          |
| 地域の水を求めてきた歴史を流れ図を入れた絵年表にまとめよう                | ○水を確保するために、西嶋八兵衛（例）によってため池の築造や改修が行われた。                                                                                |
| 3 地域の代表的な水に関する開発と、人の働きを調べ、絵図や模型などにまとめる。      | ○水を安定供給するために香川用水がつけられた。用水の運用にあたっては広く他地域の協力を得ている。                                                                      |
| 4 今の豊かな水が生み出されるまでを調べ、流れ図にまとめる。               | ○水がわたしたちの家に届くまでには、多くの人々の工夫や努力がある。上水道はわたしたちの健康な生活にとってなくてはならないものである。                                                    |
| 5 豊かな水を維持するための、他地域の森林を育てる活動を知り今のくらしをふりかえる。   | ○水を安定的に得るため、上流部では森林を守る活動が行われている。                                                                                      |
| 6 水利用に対する自分の考えを絵年表の「これから」の部分に付け加え、絵年表を完成させる。 | ○水道が普及してから生活様式が変化し、多くの水を使うようになってきた。<br>○一人一人が、水が有限で貴重な資源であると理解する必要がある。先人の知恵、他地域、外国の取り組みに学び、水を有効に利用する方法を考えていかなければならない。 |

～社会科基底単元の構想（香川県版）より抜粋～

基本課題からみた 厳選による教材の再構成 (表中 課…課題単元 教…教材単元)

|              |                    | 5 年                                                                                                  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本課題         | 具体課題               | 教材の再構成による厳選プラン                                                                                       | 新指導要領からみて | 解 説                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 世界の中の日本人     | 国際関係と平和の確立         | ←                                                                                                    |           | <p>◆について</p> <p>○ この単元は、教科書の教材配列では、第4学年の「各地の暮らしとわたしたちの国土」にある内容を基盤としている。</p> <p>・基本図や資料をもとに、環境、地形、人口分布、生産の全国的な傾向や問題点をつかむことをねらいとする。この単元で出てくる視点を教材単元としてⅠ、Ⅱの中に組み込んで実践する。</p> <p>Ⅰ・Ⅱについて</p> <p>○ 農業・工業にとどまらず、運輸通信との関連を図った再構成とする。流通や情報の働きに目を向けつつ、領域を越えた課題単元にする。</p> <p>Ⅲについて</p> <p>○ Ⅰ、Ⅱで学習した産業を支える人々の職人技に焦点をあて情報発信する。情報の正しい収集や活用の仕方、伝達の方法を身に付けることの大切さを、実践を通して気づく場とする。その過程に新聞社の情報と国民生活とのかかわりや影響について学ぶ場を位置づける。</p> |
| 地球環境にやさしく    | 生命財産の保護・保全         |                                                                                                      |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|              | 環境の保護・保全           | <p>◆私たちの国土の地図を開いて、人々の暮らしを調べよう</p> <p>・環境 ・地形と気候</p> <p>・生産と交通 ・土地利用</p> <p>・気候条件からみて特色ある地域の人々の生活</p> | 教         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| くらしをひらく生産と消費 | 生活圏の広がりとは他地域とのかかわり |                                                                                                      |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|              | 生産・流通・消費のしくみと情報    | <p>Ⅰスーパーマーケットから農業生産のようすを調べよう</p> <p>↑ ↓</p> <p>Ⅱ商店街の品物から工業製品の生産のようすをしらべよう</p>                        | 課         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|              | 地域環境と人々の生活         |                                                                                                      | 課         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 地方からの文化発信    | 人権の確立と民主政治         |                                                                                                      |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|              | 社会の発展と人間の歩み        | Ⅲ香川の産業を支えている職人技を調べ、新聞にして情報発信しよう                                                                      | 課         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

～社会科基底単元の構想（香川県版）より抜粋～

本研究会では、授業に「ゆとり」をもって問題解決的な学習を展開し、集団の中で個を育てるという立場から、いじめ対策などにも心した、個に応じた授業を試みてきた。その授業改造の視点は、

- である。

豊かでたくましく生きる人間づくりを求める上での、「真の学力の構造」を踏まえ、これからの社会科学学習では、学習論としてどのような理論と実践を展開し、「社会科の基礎・基本からカリキュラムを編成する」方策とするのか。これまでの研究の成果からその核となる部分について述べておきたい。

新指導要領で示された、「観察や調査・見学、体験などの具体的な活動やそれに基づく表現活動をいっそう展開すること」を受け、社会科学習の基軸をこうした活動におくとともに、そこから自ら見いだした課題をさらに深めるようにしたい。つまり、「子どもの表現物から課題を見つける」、言い換えると、「子どもの表現・反応を教材化」して学習を展開するのである。そのことで、教師が教材を提示する、言い換えると外発的な動機付けにより始まる学習から脱却したいのである。

本研究会では、下に掲げる「四つの調べ方法」と「多様な表現方法」を組み合わせる具体的な活動とそれに基づく表現活動を構想している。しかし、表現が単なる模倣や学習したことのまとめに終わってしまったのでは、「思考力」を育成することにはつながらない。表現したものの操作や再構成などの活動を学習過程に組み込んだり、学習内容やその単元で育成したい思考力に応じた効果的な表現方法を見極めたりして、学習計画を立てることを大切にしたい。

(2) 個から集団へという道筋の学習からの転換

「集団の中での個が生きる活動」は、新社会科が求める人間づくりを進める上で、ぜひともその学習方法の開発が求められるポイントである。このことの背景には、最近の心理学研究の成果がある。低学年における「個の確立」を踏まえ、中学年の発達課題「活動性」に基づく「仲間づくり」が可能となるという従来の発達観は、誤りではないかといわれている。同心円的に個から集団へいくのではなく、小さいときから集団を意識し、その中で個が生きていく、個がかかわっていくことが大切なのである。

授業の中で主体的な活動を通じた友達との相互交流を一層豊かにする。その中で友達と一緒に何かをやり遂げようとし、そこに責任をもとうとする気持ちや我慢する心が育っていく。そういった意味で、集団と個のかかわりから一人一人の責任を明確にし、集団に果たしている役割の自覚をもち、個の活動と集団の活動が互いに影響を与えるような交流を組織する。このことが真の「個性重視の教育」だと考えている。「それぞれの考え方・感じ方を分かり合い支え合う交流」、「個と個が互いに支え合い、理解し、尊重し合い、集団に寄与していく交流」を実現するための要件を次のようにまとめ、授業の基軸としていきたい。



### (3) 発問中心の授業の改善

新指導要領が示す「考える」の重視が、「教師の発問から」を中心とするのではなく、自分の表現物を操作しつつ思考を深めていくことで具現化されることが重要である。

そのために大切にしてきたことの一つ目は、操作しつつ思考を深めていくことのできる表現物を、一人一人がもっていることである。子どもが意欲をもち、個の能力に応じた取り組みができるより具象性のある教材としての「学習材」をもとに学習が進められるようにする。

二つ目は、「思考」が成立するための「操作」を表現とのかかわりの上で位置づけることである。思考とは、問題を解決していくための情報処理の働きである。多様な情報を操作していくことが、思考力を育てることにつながる。具体的には、三つの操作が絡み合っただ思考が成立すると考え実践していきたい。

| 類別思考 (くらべる)                    |                    | 関係思考 (つなぐ)        |                     |                             | 条件思考 (かえる)                                    |                                                   |                                          |
|--------------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 分 析                            | 比 較                | 因 果               | 結 合                 | 総 合                         | 適 応                                           | 構 想                                               | 観点変更                                     |
| 事象を構成する因子を洗い出し、因子ごとに事象の特徴を考える。 | 二つの事象を比較して、異同を考える。 | 事象間の原因・結果の関係を考える。 | 関係している事象間のつながりを考える。 | 分析した二つ以上の因子をつないで、新しい概念を考える。 | 事象に含まれている因子を他の事象にあてはめることにより、認識を深化し、拡充する思考である。 | ひらめき思考、創造的な思考であり、事実を組み立てながら見えないものを発見したり全体像を描いていく。 | 見方を変えることによって、因子の意味をとらえたり、二つの事象間の関係を発見する。 |

### (4) 人間形成の学習論に立つ授業過程の開発 ～自己実現を求める自分を創る～

これまで、人間づくり・人格形成を本来的な目的として授業の実践がなされてきた。しかし、その授業過程を支える原則は、「学習内容をどう深め、広げるか」という内容論と「どのように分かり・できるか」という認識論であった。

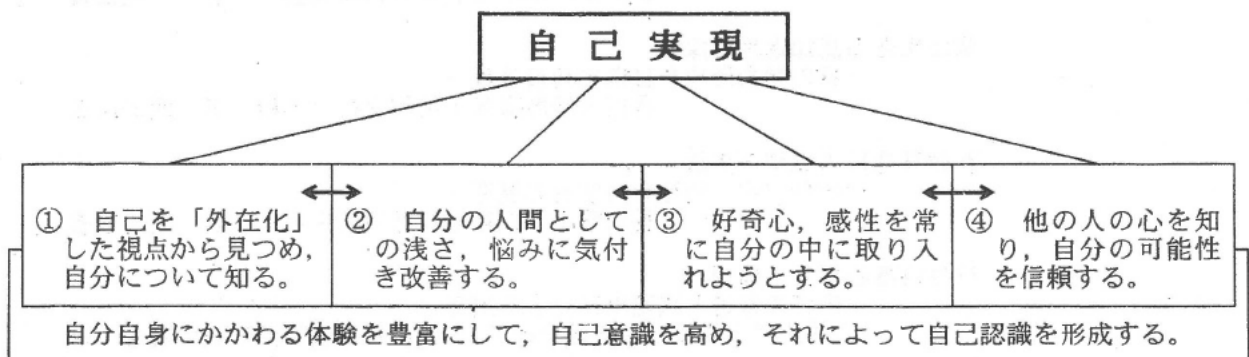
今の子どもたちを取り巻く諸問題を念頭に置いたとき、真の人間づくりをどう図るかという課題に「正面から取り組んだ学習論」と、そこに立つ授業過程の開発が急務である。こう考えたとき、従来の自己学習能力の育成を越えた要件を重視する必要がでてくる。

自分自身と対話しながら、自分の弱いところをカバーし、得意なところをみつけてよさを生かす。そんな自分を支え、一歩ずつ先に進んでいく。自分の可能性を長い見通しの中で開花実現するために、理想的自己のイメージをふくらませ、その方向に自分自身を少しずつ形成する努力を積み重ねて内面の中に生き方・在り方に関する一貫した原理・原則を作り上げる。言い換えると「自己実現を求める自分を創る」ということになる。単元展開の流れの中に、さらにそこで繰り広げられる1時間の授業過程の中に、個の自己形成、自己実現の力を高めるための学びの場を設定するのである。

今後、授業の中に組み入れていきたい「自己実現の過程」を以下に示しておく。

#### ① 自己実現の要因

自己実現とは、自分自身に対して働きかけ、それまでになかった何かを、自分自身の上に実現していくことである。そして、そうした何かの実現は、価値的なものであり、人間としての成長・発達の達成として考えられるものでなくてはならない。具体的な授業の場面に置き換えると「どれだけ1時間の始めと終わり、人間的成長ができたのかが評価される。何が分かったかとともに、どういう自分について、深く認識できるようになったかを見つめる。」ことである。そういった具体的な場面を念頭に置くと、自己実現の要因は、次の四つとなろう。

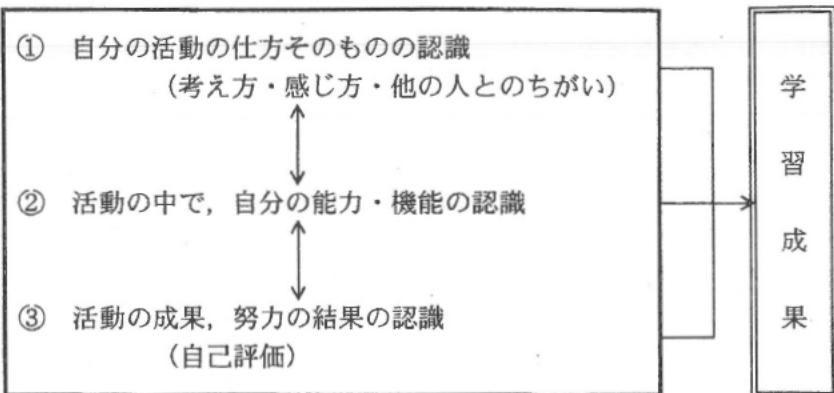




## ② 自己実現と授業過程

従来の過程では、授業の最後に学習の成果をにらんで、「自己評価」という形で自分への省察が位置付けてきた。これからは、授業過程の折にふれ、自分の「実感・納得・本音」に気付き、自分自身の見方・考え方を暗黙のうちに方向付けている内面の土台について理解できるようにしていきたい。

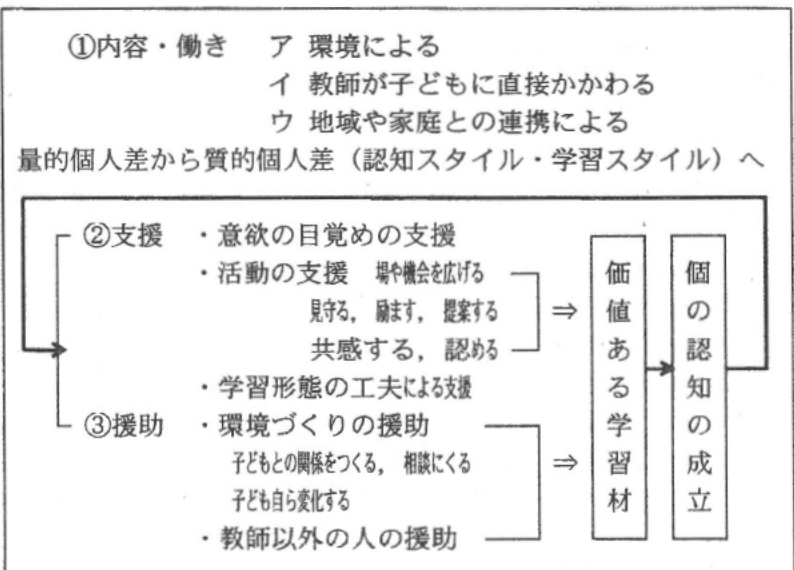
そのために、①～③を学年の発達に応じ、授業過程に組み入れる。



## (5) 豊かにたくましく生きる人間づくりを求める教師の支援・援助活動

教師の支援・援助というと、すぐに児童に直接助言を与えることだと考えがちである。確かに教師の支援・援助は大きな役割を占めている。ただ、支援・援助活動は、他の児童の相互交流の場を設定したり、環境づくりを行ったりするような間接的なものも含めて幅広いものととらえ、授業で具現化を図ってきた。

このような支援・援助をもとにして、価値ある学習材を媒介にして、自分のよさや不十分な点を友達の学びや、学習環境の中から見いだしていく。与えられるのを待つのではなく、自らが求めていく子どもの学びの姿を求めたい。



### 【参考図書】 新学力観に立つ社会科授業

—「問い」と「論証」の調べ学習—

香川県小学校社会科教育研究会 著 明治図書

### 個が生きる認知過程の探究

—真の学力形成を目指す教育課程—

香川大学教育学部附属高松小学校 著 明治図書

### 新教育課程の構想と実践

—総合学習・新社会科学習の展開—

香川県小学校社会科教育研究会 著 明治図書

### 社会科基底単元の構想

—内容の厳選と課題単位による展開—

香川県小学校社会科教育研究会 社会科基底単元作成委員会 著

## 平成12年度 郡市社研役員名簿

### 【高松社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所     | 電 話          |
|-----|---------|----|---------|-------------|--------------|
| 会 長 | 吉 本 正 隆 | 校長 | 古 高 松 小 | 高・高松町398    | 087-841-9204 |
| 副会長 | 上 枝 幸 紀 | 校長 | 二 番 丁 小 | 高・錦町2-14-1  | 087-851-3741 |
|     | 関 根 建 一 | 校長 | 新塩屋町小   | 高・末広町5      | 087-851-2011 |
|     | 植 松 勝   | 校長 | 附属高松小   | 高・番町5-1-55  | 087-861-7108 |
|     |         |    |         |             |              |
| 庶 務 | 亀 井 伸 治 | 教諭 | 檀 紙 小   | 高・御厩町816    | 087-885-1715 |
|     | 南 原 志 伸 | 教諭 | 木 太 小   | 高・木太町3480-1 | 087-861-6337 |
|     | 岡 本 英 孝 | 教諭 | 新塩屋町小   | 高・末広町5      | 087-851-2011 |
|     | 大 嶋 和 彦 | 教諭 | 鶴 尾 小   | 高・松並町636-1  | 087-867-2564 |
| 会 計 | 池 田 理 恵 | 教諭 | 四 番 丁 小 | 高・番町1-5-1   | 087-851-8390 |
| 研究部 | 横 井 裕 子 | 教諭 | 前 田 小   | 高・前田東町819-3 | 087-847-6562 |
|     | 池 田 理 恵 | 教諭 | 四 番 丁 小 | 高・番町1-5-1   | 087-851-8390 |
|     | 市 原 茂 幹 | 教諭 | 亀 阜 小   | 高・亀岡町10-1   | 087-861-2013 |
|     | 稲 田 耕 一 | 教諭 | 中 央 小   | 高・松縄町807-1  | 087-866-2938 |

### 【丸亀社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所     | 電 話          |
|-----|---------|----|-------|-------------|--------------|
| 会 長 | 金 山 達 夫 | 校長 | 郡 家 小 | 丸・郡家町790-1  | 0877-28-8401 |
| 副会長 | 香 川 佳 和 | 教頭 | 飯 野 小 | 丸・飯野町西分113  | 0877-22-6019 |
|     | 長 原 朱 実 | 教頭 | 広 島 小 | 丸・広島町江の浦439 | 0877-29-2031 |
|     |         |    |       |             |              |
|     |         |    |       |             |              |
| 庶 務 | 久保山 学   | 教諭 | 城 西 小 | 丸・六番丁12     | 0877-22-9267 |
|     |         |    |       |             |              |
|     |         |    |       |             |              |
| 会 計 | 多 田 明 広 | 教諭 | 城 南 小 | 丸・田村町973    | 0877-24-6177 |
|     |         |    |       |             |              |
| 研究部 |         |    |       |             |              |
|     |         |    |       |             |              |
|     |         |    |       |             |              |
|     |         |    |       |             |              |

【坂出社研】

| 役員名         | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所     | 電 話          |
|-------------|---------|----|-------|-------------|--------------|
| 会 長         | 丸 野 忠 義 | 校長 | 東 部 小 | 坂・室町1-1-21  | 0877-46-0234 |
| 副会長         | 丸 野 昭 善 | 校長 | 中 央 小 | 坂・寿町3-1-2   | 0877-46-2124 |
|             | 木 本 珠 城 | 校長 | 川 津 小 | 坂・川津町3093-1 | 0877-46-3884 |
|             | 廣 田 秀 雄 | 校長 | 加 茂 小 | 坂・加茂町1099   | 0877-48-0601 |
|             | 大 前 正 昭 | 校長 | 林 田 小 | 坂・林田町2191   | 0877-47-0270 |
|             |         |    |       |             |              |
|             |         |    |       |             |              |
| 庶 務<br>(会計) | 田 井 敏 之 | 教諭 | 東 部 小 | 坂・室町1-1-21  | 0877-46-0234 |
|             | 岡 本 敏 英 | 教諭 | 西 部 小 | 坂・白金町1-3-7  | 0877-46-2149 |
|             |         |    |       |             |              |
| 研究部         | 大 西 浩 史 | 教諭 | 川 津 小 | 坂・川津町3093-1 | 0877-46-3884 |
|             | 高 尾 久美子 | 教諭 | 中 央 小 | 坂・寿町3-1-2   | 0877-46-2124 |
|             | 河 野 富 男 | 教諭 | 中 央 小 | 坂・寿町3-1-2   | 0877-46-2124 |
|             |         |    |       |             |              |

【大川社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所         | 電 話          |
|-----|---------|----|---------|-----------------|--------------|
| 会 長 | 小 倉 健 治 | 校長 | 富 田 小   | 大・大川町富田西2595-2  | 0879-43-2016 |
| 副会長 | 古 市 聖 治 | 校長 | 長 尾 小   | 大・長尾町東901-1     | 0879-52-3181 |
|     | 八 木 育 夫 | 校長 | 多 和 小   | 大・長尾町多和字助光東30-1 | 0879-56-2002 |
|     | 熊 田 正 美 | 校長 | 白 鳥 小   | 大・白鳥町白鳥525      | 0879-25-2642 |
|     | 徳 田 二三男 | 校長 | 石 田 小   | 大・寒川町石田東甲425    | 0879-43-2006 |
| 庶 務 | 三 井 重 彰 | 教頭 | 志 度 小   | 大・志度町大字志度727    | 087-894-0041 |
|     | 高 田 宏 隆 | 教諭 | 福 栄 小   | 大・白鳥町与田山351-1   | 0879-27-2323 |
|     | 廣 瀬 強   | 教諭 | 石 田 小   | 大・寒川町石田東甲425    | 0879-43-2006 |
| 会 計 | 永 坂 邦 彦 | 教諭 | 長 尾 小   | 大・長尾町東901-1     | 0879-52-3181 |
|     |         |    |         |                 |              |
| 研究部 | 松 村 和 仁 | 教諭 | 津 田 小   | 大・津田町津田144      | 0879-42-2047 |
|     | 沖 肅 二   | 教諭 | 誉 水 小   | 大・大内町中筋425      | 0879-25-2044 |
|     | 永 坂 邦 彦 | 教諭 | 長 尾 小   | 大・長尾町東901-1     | 0879-52-3181 |
|     | 六 車 浩   | 教諭 | 三 本 松 小 | 大・大内町三本松862-1   | 0879-25-2664 |

【小豆社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所        | 電 話          |
|-----|---------|----|-------|----------------|--------------|
| 会 長 | 日 向 光 徳 | 校長 | 戸 形 小 | 小・土庄町甲3417     | 0879-62-0108 |
| 副会長 |         |    |       |                |              |
|     |         |    |       |                |              |
|     |         |    |       |                |              |
|     |         |    |       |                |              |
| 庶 務 | 役 重 和 雅 | 教諭 | 安 田 小 | 小・内海町安田甲472-1  | 0879-82-2012 |
|     |         |    |       |                |              |
|     |         |    |       |                |              |
| 会 計 |         |    |       |                |              |
|     |         |    |       |                |              |
| 研究部 | 林 宗 利   | 教諭 | 土 庄 小 | 小・土庄町甲657-7    | 0879-62-0068 |
|     | 青 木 隆 明 | 教諭 | 福 田 小 | 小・内海町福田甲718-1  | 0879-84-2023 |
|     | 羽 座 則 史 | 教諭 | 星 城 小 | 小・内海町草壁本町632-1 | 0879-82-2011 |
|     |         |    |       |                |              |

【木田社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所         | 電 話          |
|-----|---------|----|---------|-----------------|--------------|
| 会 長 | 古 沢 博 美 | 校長 | 庵治第二小   | 木・庵治町6034-1     | 087-871-5110 |
| 副会長 | 宮 脇 勝 美 | 教頭 | 庵 治 小   | 木・庵治町790-1      | 087-871-2581 |
|     |         |    |         |                 |              |
|     |         |    |         |                 |              |
|     |         |    |         |                 |              |
| 庶 務 | 小笠原 学   | 教諭 | 白 山 小   | 木・三木町大字下高岡352-1 | 087-898-0257 |
|     |         |    |         |                 |              |
|     |         |    |         |                 |              |
| 会 計 | 藤 岡 正 樹 | 教諭 | 白 山 小   | 木・三木町大字下高岡352-1 | 087-898-0257 |
|     |         |    |         |                 |              |
| 研究部 | 泉 聡     | 教諭 | 牟 礼 北 小 | 木・牟礼町大字牟礼2900-1 | 087-845-5742 |
|     | 小笠原 学   | 教諭 | 白 山 小   | 木・三木町大字下高岡352-1 | 087-898-0257 |
|     | 藤 岡 正 樹 | 教諭 | 白 山 小   | 木・三木町大字下高岡352-1 | 087-898-0257 |
|     |         |    |         |                 |              |

【香川杜研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所          | 電 話          |
|-----|---------|----|-------|------------------|--------------|
| 会 長 | 赤 松 晃 二 | 校長 | 香 南 小 | 香・香南町大字横井1008    | 087-879-2269 |
| 副会長 | 西 康比古   | 教頭 | 直 島 小 | 香・直島町1600        | 087-892-3007 |
|     |         |    |       |                  |              |
|     |         |    |       |                  |              |
|     |         |    |       |                  |              |
| 庶 務 | 小 原 敏 昭 | 教諭 | 浅 野 小 | 香・香川町大字浅野3088    | 087-889-0215 |
|     |         |    |       |                  |              |
|     |         |    |       |                  |              |
| 会 計 | 岡 佳 代   | 教諭 | 浅 野 小 | 香・香川町大字浅野3088    | 087-889-0215 |
|     |         |    |       |                  |              |
| 研究部 | 野 土 裕 彦 | 教諭 | 大 野 小 | 香・香川町大字大野1045-1  | 087-885-2165 |
|     | 小比賀 節 子 | 教諭 | 川 東 小 | 香・香川町大字川東上1865-8 | 087-879-2012 |
|     |         |    |       |                  |              |
|     |         |    |       |                  |              |

【綾歌杜研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所       | 電 話          |
|-----|---------|----|---------|---------------|--------------|
| 会 長 | 松 下 繁 美 | 校長 | 岡 田 小   | 綾・綾歌町岡田下217   | 0877-86-3004 |
| 副会長 | 竹 下 和 男 | 校長 | 滝 宮 小   | 綾・綾南町大字滝宮1100 | 087-876-1183 |
|     | 坂 東 博 文 | 教頭 | 国分寺南部小  | 綾・国分寺町福家甲3005 | 087-874-1160 |
|     | 上 原 公 子 | 教頭 | 西 分 小   | 綾・綾上町西分1208   | 087-878-2013 |
|     |         |    |         |               |              |
|     |         |    |         |               |              |
| 庶 務 | 波 多 誠   | 教諭 | 宇多津北小   | 綾・宇多津町浜八番丁115 | 0877-49-2000 |
|     | 眞 井 孝 征 | 教諭 | 岡 田 小   | 綾・綾歌町岡田下217   | 0877-86-3004 |
|     | 田 中 直 樹 | 教諭 | 国分寺南部小  | 綾・国分寺町福家甲3005 | 087-874-1160 |
| 会 計 | 末 澤 康 彦 | 教諭 | 富 熊 小   | 綾・綾歌町富熊1227   | 0877-86-2010 |
|     | 馬 場 直 明 | 教諭 | 富 熊 小   | 綾・綾歌町富熊1227   | 0877-86-2010 |
| 研究部 | 宇 山 知 昌 | 教諭 | 西 分 南 小 | 綾・綾上町西分2213   | 087-878-2703 |
|     | 福 家 光 洋 | 教諭 | 昭 和 小   | 綾・綾南町大字畑田2381 | 087-877-0519 |
|     | 高 吉 直 之 | 教諭 | 粉 所 小   | 綾・綾上町粉所西甲2060 | 087-878-2312 |
|     |         |    |         |               |              |



【仲善社研】

| 役員名 | 氏 名     | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所          | 電 話          |
|-----|---------|----|---------|------------------|--------------|
| 会 長 | 山 下 清 明 | 校長 | 長 炭 小   | 仲・満濃町大字炭所西1431-2 | 0877-79-2006 |
| 副会長 | 水 卜 由 文 | 教頭 | 満 濃 南 小 | 仲・満濃町大字吉野74      | 0877-79-2110 |
|     |         |    |         |                  |              |
|     |         |    |         |                  |              |
|     |         |    |         |                  |              |
| 庶 務 | 山 田 泰 二 | 教諭 | 豊 原 小   | 仲・多度津町南鴨704      | 0877-32-2050 |
|     | 森 井 信 一 | 教諭 | 四 箇 小   | 仲・多度津町大字三井433-1  | 0877-32-2517 |
|     |         |    |         |                  |              |
| 会 計 | 谷 口 時 美 | 教諭 | 四 条 小   | 善・満濃町大字四条728     | 0877-73-5514 |
|     |         |    |         |                  |              |
| 研究部 | 森 昭 二   | 教諭 | 善・東部小   | 善・稲木町450-1       | 0877-62-0703 |
|     | 島 田 英 夫 | 教諭 | 善・南部小   | 善・生野町2990-1      | 0877-62-0702 |
|     | 篠 原 正 議 | 教諭 | 善・中央小   | 善・文京町4-5-1       | 0877-62-1616 |
|     |         |    |         |                  |              |

【三豊社研】

| 役員名 | 氏 名       | 職名 | 勤 務 校   | 学 校 住 所          | 電 話          |
|-----|-----------|----|---------|------------------|--------------|
| 会 長 | 大 西 孝 典   | 校長 | 常 磐 小   | 観・植田町365         | 0875-25-2988 |
| 副会長 | 西 谷 則 一   | 校長 | 上 高 野 小 | 三・豊中町大字上高野2384   | 0875-62-2064 |
|     | 大 山 正 子   | 校長 | 豊 浜 小   | 三・豊浜町大字和田浜1000   | 0875-52-2029 |
|     |           |    |         |                  |              |
|     |           |    |         |                  |              |
| 庶 務 | 白 杵 優     | 教諭 | 杵 田 小   | 観・杵田町乙1000-1     | 0875-25-3621 |
|     | 高 橋 克 佳   | 教諭 | 大 野 原 小 | 三・大野原町大字大野原1905  | 0875-54-2029 |
|     |           |    |         |                  |              |
| 会 計 | 白 杵 優     | 教諭 | 杵 田 小   | 観・杵田町乙1000-1     | 0875-25-3621 |
|     |           |    |         |                  |              |
| 研究部 | 安 藤 通     | 教諭 | 上 高 野 小 | 三・豊中町大字上高野2384   | 0875-62-2064 |
|     | 高 橋 克 佳   | 教諭 | 大 野 原 小 | 三・大野原町大字大野原1905  | 0875-54-2029 |
|     | 岩 倉 隆 視   | 教諭 | 二ノ宮小    | 三・高瀬町大字佐股甲1497-1 | 0875-74-6302 |
|     | 岸 上 也 寸 志 | 教諭 | 観音寺南小   | 観・観音寺町甲1186-2    | 0875-25-4675 |

【高 松 市】

|                                 | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年  |
|---------------------------------|-----------|---------|-------|
| 定<br>例<br>会                     | ① 檀 紙 小   | 亀 井 伸 治 | T ・ T |
|                                 | ② 築 地 小   | 福 家 親 夫 | 4 年   |
|                                 | ③ 木 太 小   | 南 原 志 伸 | T ・ T |
| 研<br>究<br>部                     | ① 前 田 小   | 横 井 裕 子 | 2 年   |
|                                 | ② 四 番 丁 小 | 池 田 理 恵 | 5 年   |
|                                 | ③ 亀 阜 小   | 市 原 茂 幹 | 4 年   |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 中 央 小   | 稲 田 耕 一 | 5 年   |
|                                 | ② 鶴 尾 小   | 黒 川 浩 一 | 6 年   |
|                                 | ③ 香 西 小   | 葛 西 秀 樹 | 6 年   |

【丸 亀 市】

|                                 | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年    |
|---------------------------------|-----------|---------|---------|
| 定<br>例<br>会                     | ① 飯 野 小   | 佐々原 正 樹 | 5 年     |
|                                 | ② 城 坤 小   | 佐々木 美 華 | 3 年     |
|                                 | ③ 城 辰 小   | 中 西 昇   | T ・ T   |
| 研<br>究<br>部                     | ① 城 北 小   | 石 川 裕 之 | 6 年     |
|                                 | ② 郡 家 小   | 池 内 右 典 | 5 年     |
|                                 |           |         |         |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 城 東 小   | 梅 谷 旬   | 3 年     |
|                                 | ② 郡 家 小   | 樋 口 昌 樹 | 6 年     |
|                                 | ③ 城 坤 小   | 岡 田 陽 一 | 4 年     |
| 香<br>社<br>研<br>勉<br>強<br>会      | ① 城 南 小   | 山 野 正 登 | 6 年     |
|                                 | ② 城 坤 小   | 寒 川 英 樹 | T ・ T   |
|                                 | ③ 小 手 島 小 | 合 田 吉 宏 | 5 ・ 6 年 |
|                                 | ④ 城 南 小   | 多 田 明 広 | 4 年     |

【坂 出 市】

|                             | 学 校 名   | 氏 名       | 担当学年   |
|-----------------------------|---------|-----------|--------|
| 定<br>例<br>会                 | ① 中 央 小 | 旅 田 敏 弘   | 1 年    |
|                             | ② 東 部 小 | 田 井 敏 之   | 6 年    |
|                             | ③ 西 庄 小 | 田 中 秀 年   | 専 科    |
| 研<br>究<br>部                 | ① 川 津 小 | 大 西 浩 史   | 5 年    |
|                             | ② 中 央 小 | 高 尾 久 美 子 | 障 害 児  |
|                             | ③ 中 央 小 | 河 野 富 男   | 2 年    |
| 基<br>礎・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 西 部 小 | 岡 本 敏 英   | 社会 専 科 |
|                             | ② 林 田 小 | 金 関 太 郎   | 3 年    |
|                             | ③       |           |        |

【小 豆 郡】

|                             | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年 |
|-----------------------------|---------|---------|------|
| 定<br>例<br>会                 | ① 北 浦 小 | 蘆 原 秀 稔 | 6 年  |
|                             | ② 星 城 小 | 羽 座 則 史 | 6 年  |
|                             | ③       |         |      |
| 研<br>究<br>部                 | ① 土 庄 小 | 林 宗 利   | 6 年  |
|                             | ② 豊 島 小 | 塩 見 強   | 6 年  |
|                             | ③       |         |      |
| 基<br>礎・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 福 田 小 | 青 木 隆 明 | 4 年  |
|                             | ②       |         |      |
|                             | ③       |         |      |

【大 川 郡】

|                             | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年       |
|-----------------------------|---------|---------|------------|
| 定<br>例<br>会                 | ① 石 田 小 | 山 下 博   | 4 年        |
|                             | ② 松 尾 小 | 穴 吹 眞 二 | 4 年        |
|                             | ③ 白 鳥 小 | 古 澤 哲 夫 | 3 年        |
| 研<br>究<br>部                 | ① 津 田 小 | 松 村 和 仁 | 6 年        |
|                             | ② 誉 水 小 | 沖 肅 二   | 6 年        |
|                             | ③ 長 尾 小 | 永 坂 邦 彦 | 4 年        |
| 基<br>礎・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 石 田 小 | 廣 瀬 強   | 6 年        |
|                             | ② 福 栄 小 | 高 田 宏 隆 | 5 年        |
|                             | ③ 志 度 小 | 梅 本 明 宏 | 内地留学(香川大学) |

【木 田 郡】

|                             | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年  |
|-----------------------------|-----------|---------|-------|
| 定<br>例<br>会                 | ① 平 井 小   | 武 田 玲 子 | 3 年   |
|                             | ② 牟 礼 小   | 磯 部 康 子 | 障 害 児 |
|                             | ③ 牟 礼 南 小 | 元 山 美 里 | 4 年   |
| 研<br>究<br>部                 | ① 牟 礼 北 小 | 泉 聡     | 4・5 年 |
|                             | ② 白 山 小   | 小 笠 原 学 | 6 年   |
|                             | ③ 白 山 小   | 藤 岡 正 樹 | 5 年   |
| 基<br>礎・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 庵 治 小   | 益 田 隆 子 | 6 年   |
|                             | ② 平 井 小   | 筒 井 町 子 | 3 年   |
|                             | ③ 牟 礼 小   | 伏 見 千 珠 | 4 年   |



【香 川 郡】

|                                 |             | 学 校 名   | 氏 名       | 担当学年 |
|---------------------------------|-------------|---------|-----------|------|
| 定<br>例<br>会                     | 代<br>表<br>者 | ① 浅 野 小 | 小 原 敏 昭   | 4 年  |
|                                 |             | ② 香 南 小 | 山 田 俊 也   | 5 年  |
|                                 |             | ③ 塩 江 小 | 長 岡 伸 幸   | 4 年  |
| 研<br>究<br>部                     | 代<br>表<br>者 | ① 大 野 小 | 野 土 裕 彦   | 4 年  |
|                                 |             | ② 川 東 小 | 小 比 賀 節 子 | 4 年  |
|                                 |             | ③ 浅 野 小 | 小 原 敏 昭   | 4 年  |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | 代<br>表<br>者 | ① 浅 野 小 | 川 村 千 寿   | 6 年  |
|                                 |             | ② 川 東 小 | 喜 岡 永 光   | 5 年  |
|                                 |             | ③ 塩 江 小 | 長 岡 伸 幸   | 4 年  |

【綾 歌 郡】

|                                 |  | 学 校 名         | 氏 名     | 担当学年 |
|---------------------------------|--|---------------|---------|------|
| 定<br>例<br>会                     |  | ① 西 分 南 小     | 宇 山 知 昌 | 3 年  |
|                                 |  | ② 国 分 寺 南 部 小 | 田 中 直 樹 | 6 年  |
|                                 |  | ③ 宇 多 津 北 小   | 波 多 誠   | 6 年  |
| 研<br>究<br>部                     |  | ① 岡 田 小       | 眞 井 孝 征 | 5 年  |
|                                 |  | ② 富 熊 小       | 末 澤 康 彦 | 6 年  |
|                                 |  | ③ 昭 和 小       | 福 家 光 洋 | 5 年  |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 |  | ① 富 熊 小       | 馬 場 直 明 | 5 年  |
|                                 |  | ② 国 分 寺 南 部 小 | 林 聖 士   | 4 年  |
|                                 |  | ③ 国 分 寺 南 部 小 | 小 川 美 和 | 4 年  |

【仲多度郡・善通寺市】

|                                 | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年  |
|---------------------------------|-----------|---------|-------|
| 定<br>例<br>会                     | ① 中 央 小   | 岩 崎 保 雄 | 6 年   |
|                                 | ② 琴 平 小   | 片 井 功   | 4 年   |
|                                 | ③ 満 濃 南 小 | 高 橋 義 徳 | 障 害 児 |
| 研<br>究<br>部                     | ① 東 部 小   | 森 昭 二   | 6 年   |
|                                 | ② 南 部 小   | 島 田 英 夫 | 6 年   |
|                                 | ③ 中 央 小   | 篠 原 正 議 | 3 年   |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 仲 南 北 小 | 高 家 和 彦 | 6 年   |
|                                 | ② 南 部 小   | 島 田 英 夫 | 6 年   |
|                                 | ③ 中 央 小   | 篠 原 正 議 | 3 年   |

【三 豊 郡】

|                                 | 学 校 名       | 氏 名       | 担当学年  |
|---------------------------------|-------------|-----------|-------|
| 定<br>例<br>会                     | ① 二 ノ 宮 小   | 岩 倉 隆 視   | 6 年   |
|                                 | ② 観 音 寺 南 小 | 岸 上 也 寸 志 | 3 年   |
|                                 | ③ 詫 間 小     | 赤 坂 光 敏   | 6 年   |
| 研<br>究<br>部                     | ① 上 高 野 小   | 安 藤 通     | 5 年   |
|                                 | ② 大 野 原 小   | 高 橋 克 佳   | 5 年   |
|                                 | ③ 観 音 寺 南 小 | 深 川 隆     | 6 年   |
| 基<br>礎<br>・<br>テ<br>ス<br>ト<br>部 | ① 高 室 小     | 三 崎 彰 夫   | 6 年   |
|                                 | ② 観 音 寺 東 小 | 萬 亀 弘 吉   | 4 年   |
|                                 | ③ 松 崎 小     | 石 川 博 健   | 障 害 児 |

# 平成12年度 香川県小学校社会科教育研究会名簿

高松市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地  | 学 校 名   | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|------------|---------|-----|---------|-----------------|------|
| 1  | 760-0012 | 瀬戸内町18-2   | 日 新 小   | 教頭  | 野 島 悟   | 087<br>861-5702 |      |
| 2  | 760-0020 | 錦町2-14-1   | 二 番 丁 小 | 校長  | 上 枝 幸 紀 | 851-3741        |      |
| 3  | 760-0017 | 番町1-5-1    | 四 番 丁 小 | 5   | 池 田 理 恵 | 851-8390        |      |
| 4  | 760-0006 | 亀岡町10-1    | 亀 阜 小   | 5   | 上 井 嘉   | 861-2013        |      |
| 5  | 〃        | 〃          | 〃       | 4   | 市 原 茂 幹 | 〃               |      |
| 6  | 〃        | 〃          | 〃       | 3   | 松 川 紀 子 | 〃               |      |
| 7  | 760-0073 | 栗林町2-10-7  | 栗 林 小   | 5   | 橋 本 康 裕 | 861-3438        |      |
| 8  | 〃        | 〃          | 〃       | 4   | 高 木 恭 子 | 〃               |      |
| 9  | 〃        | 〃          | 〃       | 3   | 雨 山 幸 代 | 〃               |      |
| 10 | 〃        | 〃          | 〃       | 5   | 小 西 宏 幸 | 〃               |      |
| 11 | 〃        | 〃          | 〃       | 障害  | 寺 島 幹 人 | 〃               |      |
| 12 | 760-0068 | 松島町2-14-5  | 松 島 小   | 6   | 安 部 幸 則 | 861-4503        |      |
| 13 | 760-0061 | 築地町14-1    | 築 地 小   | 4   | 福 家 親 夫 | 831-7188        |      |
| 14 | 760-0060 | 末広町5       | 新塩屋町小   | 校長  | 関 根 建 一 | 851-2011        |      |
| 15 | 〃        | 〃          | 〃       | 6   | 岡 本 英 孝 | 〃               |      |
| 16 | 〃        | 〃          | 〃       | 5   | 高 橋 洋 子 | 〃               |      |
| 17 | 〃        | 〃          | 〃       | 5   | 佐 立 茂 樹 | 〃               |      |
| 18 | 761-8052 | 松並町636-1   | 鶴 尾 小   | 6   | 黒 川 浩 一 | 867-2564        |      |
| 19 | 〃        | 〃          | 〃       | 6   | 田 邊 裕一朗 | 〃               |      |
| 20 | 〃        | 〃          | 〃       | 5   | 大 嶋 和 彦 | 〃               |      |
| 21 | 〃        | 〃          | 〃       | 4   | 岡 裕 子   | 〃               |      |
| 22 | 〃        | 〃          | 〃       | T・T | 日 下 浩 子 | 〃               |      |
| 23 | 761-8071 | 伏石町845-1   | 太 田 小   | 1   | 大 橋 けい子 | 865-4433        |      |
| 24 | 760-0080 | 木太町3480-1  | 木 太 小   | 4   | 木 村 ますみ | 861-6337        |      |
| 25 | 〃        | 〃          | 〃       | T・T | 南 原 志 伸 | 〃               |      |
| 26 | 〃        | 〃          | 〃       | 障害  | 佐々木 誠   | 〃               |      |
| 27 | 761-0104 | 高松町398     | 古 高 松 小 | 校長  | 吉 本 正 隆 | 841-9204        |      |
| 28 | 761-0113 | 屋島西町1205-1 | 屋 島 小   | 6   | 大 奥 洋 介 | 841-1538        |      |
| 29 | 761-0322 | 前田東町819-3  | 前 田 小   | 教頭  | 池 田 孝 徳 | 847-6562        |      |
| 30 | 〃        | 〃          | 〃       | 5   | 香 西 謙 二 | 〃               |      |

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地  | 学 校 名   | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話     | 自宅電話 |
|----|----------|------------|---------|-----|---------|----------|------|
| 31 | 761-0322 | 前田東町819-3  | 前 田 小   | 2   | 横 井 裕 子 | 847-6562 |      |
| 32 | 761-0301 | 林町1108-1   | 林 小     | 6   | 井 上 泉   | 865-6250 |      |
| 33 | "        | "          | "       | 6   | 白 川 顕 二 | "        |      |
| 34 | 761-8078 | 仏生山町甲2461  | 仏 生 山 小 | 教頭  | 山 下 晃   | 889-0549 |      |
| 35 | 761-8014 | 香西南町703-1  | 香 西 小   | 教頭  | 虫 本 利 久 | 881-3214 |      |
| 36 | "        | "          | "       | 6   | 葛 西 秀 樹 | "        |      |
| 37 | 761-8084 | 一宮町672-1   | 一 宮 小   | 4   | 久 保 範 高 | 885-1764 |      |
| 38 | 761-8076 | 多肥上町902-2  | 多 肥 小   | 6   | 真 鍋 康 秀 | 889-0537 |      |
| 39 | 761-8044 | 円座町1630-2  | 円 座 小   | 6   | 福 家 正 人 | 885-2542 |      |
| 40 | 761-8042 | 御厩町816     | 檀 紙 小   | T・T | 亀 井 伸 治 | 885-1715 |      |
| 41 | "        | "          | "       | 6   | 大 海 隆 志 | "        |      |
| 42 | 761-8032 | 鶴市町374-1   | 弦 打 小   | 校長  | 林 靖 子   | 881-3523 |      |
| 43 | "        | "          | "       | 6   | 増 田 泰 己 | "        |      |
| 44 | "        | "          | "       | 5   | 池 田 茂 樹 | "        |      |
| 45 | 761-0443 | 川島東町864-1  | 川 島 小   | 教頭  | 藤 本 一 郎 | 848-0050 |      |
| 46 | "        | "          | "       | 2   | 宇喜多 孝 明 | "        |      |
| 47 | 761-0446 | 東植田町2008   | 東 植 田 小 | 教頭  | 徳 田 仁 司 | 849-0062 |      |
| 48 | 761-0447 | 菅沢町339     | 菅 沢 分 小 | 3・4 | 柏 徹 哉   | 893-0036 |      |
| 49 | 760-0079 | 松縄町807-1   | 中 央 小   | 教頭  | 藤 田 和 代 | 866-2938 |      |
| 50 | "        | "          | "       | 5   | 稲 田 耕 一 | "        |      |
| 51 | 761-8073 | 太田下町1823-1 | 太 田 南 小 | 6   | 平 田 紀久夫 | 865-9395 |      |
| 52 | 760-0017 | 番町5-1-55   | 附属高松小   | 1   | 喜 多 文 彦 | 861-7108 |      |
| 53 | "        | "          | "       | 6   | 寺 嶋 俊 秀 | "        |      |
| 54 | "        | "          | "       | 4   | 亀 井 健 男 | "        |      |
| 55 | "        | "          | "       | 3   | 日 下 哲 也 | "        |      |
| 56 | "        | "          | "       | 2   | 三 木 省 二 | "        |      |
| 57 | "        | "          | "       | 3   | 榎 貴 志   | "        |      |

## 丸亀市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地  | 学 校 名   | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|------------|---------|-----|---------|-----------------|------|
| 1  | 763-0033 | 中府町5-15-1  | 城 乾 小   | 1   | 高 木 京 子 | 0877<br>22-8158 |      |
| 2  | 763-0051 | 今津町348     | 城 坤 小   | 3   | 佐々木 美 華 | 24-4705         |      |
| 3  | "        | "          | "       | 4   | 岡 田 陽 一 | "               |      |
| 4  | "        | "          | "       | 5   | 平 澤 昌 司 | "               |      |
| 5  | "        | "          | "       | 6   | 森 川 宏 子 | "               |      |
| 6  | "        | "          | "       | T・T | 寒 川 英 樹 | "               |      |
| 7  | 763-0002 | 瓦町95       | 城 北 小   | 2   | 高 木 弘 信 | 24-4700         |      |
| 8  | "        | "          | "       | 6   | 石 川 裕 之 | "               |      |
| 9  | 763-0026 | 六番丁12      | 城 西 小   | 4   | 中 條 寿 代 | 22-9267         |      |
| 10 | "        | "          | "       | 6   | 北 分 英 樹 | "               |      |
| 11 | "        | "          | "       | 6   | 久保山 学   | "               |      |
| 12 | 763-0071 | 田村町973     | 城 南 小   | 2   | 香 川 浩 子 | 24-6177         |      |
| 13 | "        | "          | "       | 3   | 亀 井 雅 子 | "               |      |
| 14 | "        | "          | "       | 4   | 多 田 明 広 | "               |      |
| 15 | "        | "          | "       | 6   | 山 野 正 登 | "               |      |
| 16 | "        | "          | "       | 教務  | 氏 家 雅 子 | "               |      |
| 17 | 763-0081 | 土器町西五丁目113 | 城 東 小   | 3   | 梅 谷 旬   | 24-4703         |      |
| 18 | 763-0091 | 川西町北151    | 城 辰 小   | T・T | 中 西 昇   | 28-7401         |      |
| 19 | 763-0093 | 郡家町790-1   | 郡 家 小   | 4   | 大喜多 峯 子 | 28-8401         |      |
| 20 | "        | "          | "       | 5   | 池 内 右 典 | "               |      |
| 21 | "        | "          | "       | 6   | 樋 口 昌 樹 | "               |      |
| 22 | "        | "          | "       | 校長  | 金 山 達 夫 | "               |      |
| 23 | 763-0086 | 飯野町西分113   | 飯 野 小   | 5   | 佐々原 正 樹 | 22-6019         |      |
| 24 | "        | "          | "       | 教頭  | 香 川 佳 和 | "               |      |
| 25 | 763-0095 | 垂水町1408    | 垂 水 小   | T・T | 阿 野 順 子 | 28-7551         |      |
| 26 | 763-0102 | 広島町江の浦439  | 広 島 小   | 5   | 小 山 善 弘 | 29-2031         |      |
| 27 | "        | "          | "       | 教頭  | 長 原 朱 実 | "               |      |
| 28 | 763-0108 | 広島町小手島2782 | 小 手 島 小 | 5・6 | 合 田 吉 宏 | 29-2751         |      |

## 坂出市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地 | 学 校 名 | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|-----------|-------|----|---------|-----------------|------|
| 1  | 762-0042 | 白金町1-3-7  | 西 部 小 | 初担 | 野 村 亮 子 | 0877<br>46-2149 |      |
| 2  | "        | "         | "     | 社専 | 岡 本 敏 英 | "               |      |
| 3  | 762-0043 | 寿町3-1-2   | 中 央 小 | 校長 | 丸 野 昭 善 | 46-2124         |      |
| 4  | "        | "         | "     | 1  | 旅 田 敏 弘 | "               |      |
| 5  | "        | "         | "     | 障害 | 高 尾 久美子 | "               |      |
| 6  | "        | "         | "     | 2  | 河 野 富 男 | "               |      |
| 7  | "        | "         | "     | 3  | 藤 本 洋 子 | "               |      |
| 8  | "        | "         | "     | 5  | 白 川 豊 浩 | "               |      |
| 9  | 762-0007 | 室町1-1-21  | 東 部 小 | 校長 | 丸 野 忠 義 | 46-0234         |      |
| 10 | "        | "         | "     | 教頭 | 金 井 宏 諾 | "               |      |
| 11 | "        | "         | "     | 障害 | 多田羅 洋 子 | "               |      |
| 12 | "        | "         | "     | 6  | 田 井 敏 之 | "               |      |
| 13 | "        | "         | "     | 3  | 黒 川 大 介 | "               |      |
| 14 | "        | "         | "     | 内留 | 吉 田 和 弘 | "               |      |
| 15 | 762-0033 | 谷町3-1-23  | 金 山 小 | 教頭 | 車 谷 淳 一 | 46-2329         |      |
| 16 | 762-0021 | 西庄町524    | 西 庄 小 | 教頭 | 鈴 木 清 子 | 46-2662         |      |
| 17 | "        | "         | "     | 専科 | 田 中 秀 年 | "               |      |
| 18 | 762-0012 | 林田町2191   | 林 田 小 | 校長 | 大 前 正 昭 | 47-0270         |      |
| 19 | "        | "         | "     | 3  | 金 関 太 郎 | "               |      |
| 20 | 762-0023 | 加茂町1099   | 加 茂 小 | 校長 | 廣 田 秀 雄 | 48-0601         |      |
| 21 | "        | "         | "     | 5  | 佐 藤 和 代 | "               |      |
| 22 | 762-0024 | 府中町1193-3 | 府 中 小 | 2  | 香 川 和 美 | 48-0610         |      |
| 23 | 762-0025 | 川津町3093-1 | 川 津 小 | 校長 | 木 本 珠 城 | 46-3884         |      |
| 24 | "        | "         | "     | 4  | 丸 岡 小百合 | "               |      |
| 25 | "        | "         | "     | 5  | 大 西 浩 史 | "               |      |
| 26 | 762-0067 | 瀬居町1490   | 瀬 居 小 | 教頭 | 亀 井 彰   | 46-9194         |      |
| 27 | 762-0031 | 文京町2-4-2  | 附 坂 小 | 5  | 合 田 雅 気 | 46-2692         |      |
| 28 | "        | "         | "     | 3  | 佐 柳 仁   | "               |      |



小豆郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地    | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|--------------|-------|-----|---------|-----------------|------|
| 1  | 761-4106 | 土庄町甲657-7    | 土 庄 小 | 6   | 林 宗 利   | 0879<br>62-0068 |      |
| 2  | "        | "            | "     | 4   | 國 土 英 二 | "               |      |
| 3  | 761-4115 | 土庄町甲3417     | 戸 形 小 | 校長  | 日 向 光 徳 | 62-0108         |      |
| 4  | "        | "            | "     | 5   | 向 永 和 資 | "               |      |
| 5  | 761-4121 | 土庄町湊崎甲1256   | 湊 崎 小 | 障害  | 福 井 健 文 | 62-0072         |      |
| 6  | 761-4151 | 土庄町肥土山甲1735  | 大 鐸 小 | 5   | 樋 本 清 和 | 62-0712         |      |
| 7  | 761-4145 | 土庄町大部甲1975   | 大 部 小 | 3   | 丸 井 与 恵 | 67-2120         |      |
| 8  | 761-4143 | 土庄町見目甲1587   | 北 浦 小 | 6   | 蘆 原 秀 稔 | 65-2021         |      |
| 9  | 761-4131 | 土庄町伊喜末381    | 四 海 小 | 障害  | 岩 崎 安 徳 | 64-5051         |      |
| 10 | 761-4661 | 土庄町豊島家浦2516  | 豊 島 小 | 同和  | 塩 見 強   | 68-2020         |      |
| 11 | 761-4301 | 池田町大字池田1760  | 池 田 小 | 2   | 森 玲 子   | 75-2222         |      |
| 12 | 761-4432 | 内海町草壁本町632-1 | 星 城 小 | 6   | 羽 座 則 史 | 82-2011         |      |
| 13 | 761-4411 | 内海町安田甲472-1  | 安 田 小 | 同和  | 役 重 和 雅 | 82-2012         |      |
| 14 | 761-4421 | 内海町苗羽甲1371-1 | 苗 羽 小 | 教頭  | 片 山 雅 文 | 82-2013         |      |
| 15 | 761-4402 | 内海町福田甲718-1  | 福 田 小 | 4   | 青 木 隆 明 | 84-2023         |      |
| 16 | "        | "            | "     | T・T | 植 田 貴 弘 | "               |      |

大川郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地    | 学 校 名   | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|--------------|---------|----|---------|-----------------|------|
| 1  | 769 2903 | 引田町南野204-1   | 相 生 小   | 教頭 | 大 岡 眞 海 | 0879<br>33-3627 |      |
| 2  | 769-2901 | 引田町引田2083-1  | 引 田 小   | 教頭 | 向 山 智恵子 | 33-2036         |      |
| 3  | 769-2705 | 白鳥町白鳥525     | 白 鳥 小   | 校長 | 熊 田 正 美 | 25-2642         |      |
| 4  | "        | "            | "       | 3  | 古 澤 哲 夫 | "               |      |
| 5  | 769-2713 | 白鳥町与田山351-1  | 福 栄 小   | 5  | 高 田 宏 隆 | 27-2323         |      |
| 6  | 769-2702 | 白鳥町松原167-1   | 本 町 小   | 4  | 来 島 博 人 | 25-3064         |      |
| 7  | "        | "            | "       | 5  | 窪 田 史 子 | "               |      |
| 8  | 769-2601 | 大内町三本松862-1  | 三 本 松 小 | 5  | 六 車 浩   | 25-2664         |      |
| 9  | 769-2605 | 大内町中筋425     | 誉 水 小   | 6  | 沖 肅 二   | 25-2044         |      |
| 10 | 761-0904 | 大川町田面125     | 松 尾 小   | 4  | 穴 吹 眞 二 | 43-3016         |      |
| 11 | 761-0901 | 大川町富田西2595-2 | 富 田 小   | 校長 | 小 倉 健 治 | 43-2016         |      |
| 12 | "        | "            | "       | 6  | 橋 本 義 人 | "               |      |
| 13 | "        | "            | "       | 5  | 岡 田 保   | "               |      |

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名       | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------|-------------|-----|---------|-----------------|------|
| 14 | 769-2321 | 寒川町石田東甲425    | 石 田 小       | 校長  | 徳 田 二三男 | 0879<br>43-2006 |      |
| 15 | "        | "             | "           | 4   | 山 下 博   | "               |      |
| 16 | "        | "             | "           | 6   | 廣 瀬 強   | "               |      |
| 17 | 769-2323 | 寒川町神前1615     | 神 前 小       | T・T | 西 山 雅 道 | 43-2124         |      |
| 18 | 769-2312 | 長尾町造田是弘688-1  | 造 田 小       | 校長  | 高 橋 英 武 | 52-2141         |      |
| 19 | "        | "             | "           | 4   | 國 方 歳 子 | "               |      |
| 20 | "        | "             | "           | 4   | 渡 辺 かおり | "               |      |
| 21 | 769-2301 | 長尾町東901-1     | 長 尾 小       | 校長  | 古 市 聖 治 | 52-3181         |      |
| 22 | "        | "             | "           | 4   | 永 坂 邦 彦 | "               |      |
| 23 | 769-2306 | 長尾町多和字助光東30-1 | 多 和 小       | 校長  | 八 木 育 夫 | 56-2002         |      |
| 24 | 769-2101 | 志度町大字志度727    | 志 度 小       | 教頭  | 三 井 重 彰 | 087<br>894-0041 |      |
| 25 | "        | "             | "           | 内留  | 梅 本 明 宏 | "               |      |
| 26 | "        | "             | "           | 2   | 平 井 アイ子 | "               |      |
| 27 | 769-2401 | 津田町津田144      | 津 田 小       | 6   | 松 村 和 仁 | 0879<br>42-2047 |      |
| 28 | 769-2402 | 津田町鶴羽781-2    | 鶴 羽 小       | 1   | 江 崎 衣 代 | 42-2041         |      |
| 29 | 769-2301 | 長尾町東888-5     | 長尾町教育委員会事務局 |     | 大 高 哲 也 | 52-2511         |      |

木田郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名     | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------|-----------|-----|---------|-----------------|------|
| 1  | 761-0121 | 牟礼町大字牟礼2900-1 | 牟 礼 北 小   | 4・5 | 泉 聡     | 087<br>845-5742 |      |
| 2  | 761-0130 | 庵治町790-1      | 庵 治 小     | 6   | 益 田 隆 子 | 871-2581        |      |
| 3  | 761-0122 | 牟礼町大字大町1115-1 | 牟 礼 南 小   | 4   | 元 山 美 里 | 845-9324        |      |
| 4  | 761-0612 | 三木町大字氷上2845   | 氷 上 小     | 5   | 柴 原 照 子 | 898-0710        |      |
| 5  | "        | "             | "         | 4   | 香 西 幸 代 | "               |      |
| 6  | 761-0121 | 牟礼町大字牟礼2900-1 | 牟 礼 北 小   | 3   | 黒 田 規 代 | 845-5742        |      |
| 7  | 761-0122 | 牟礼町大字大町1560   | 牟 礼 小     | 障害  | 磯 部 康 子 | 845-9239        |      |
| 8  | "        | "             | "         | 4   | 伏 見 千 珠 | "               |      |
| 9  | 761-0702 | 三木町大字平木710-1  | 平 井 小     | 3   | 筒 井 町 子 | 898-0713        |      |
| 10 | "        | "             | "         | 3   | 武 田 玲 子 | "               |      |
| 11 | "        | "             | "         | 6   | 佐 藤 明 子 | "               |      |
| 12 | 761-0704 | 三木町大字下高岡352-1 | 白 山 小     | 6   | 小笠原 学   | 898-0257        |      |
| 13 | "        | "             | "         | 5   | 藤 岡 正 樹 | "               |      |
| 14 | 761-0130 | 庵治町6034-1     | 庵 治 第 二 小 | 校長  | 古 沢 博 美 | 871-5110        |      |
| 15 | 761-0130 | 庵治町790-1      | 庵 治 小     | 教頭  | 宮 脇 勝 美 | 871-2581        |      |

## 香川郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地           | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話     | 自宅電話 |
|----|----------|---------------------|-------|-----|---------|----------|------|
| 1  | 761-1404 | 香南町大字横井1008         | 香 南 小 | 校長  | 赤 松 晃 二 | 879-2269 |      |
| 2  | 761-3110 | 直島町1600             | 直 島 小 | 教頭  | 西 康比古   | 892-3007 |      |
| 3  | 761-1502 | 塩江町大字安原下<br>第2号1684 | 安 原 小 | 5・6 | 前 田 宏 之 | 897-0008 |      |
| 4  | 761-1612 | 塩江町大字安原上東365        | 塩 江 小 | 4   | 長 岡 伸 幸 | 893-0027 |      |
| 5  | 761-1701 | 香川町大字大野1045-1       | 大 野 小 | 4   | 野 土 裕 彦 | 885-2165 |      |
| 6  | "        | "                   | "     | 3   | 黒 川 久美子 | "        |      |
| 7  | "        | "                   | "     | 3   | 西 岡 佳 子 | "        |      |
| 8  | 761-1703 | 香川町大字浅野3088         | 浅 野 小 | 4   | 小 原 敏 昭 | 889-0215 |      |
| 9  | "        | "                   | "     | 5   | 川 村 千 寿 | "        |      |
| 10 | "        | "                   | "     | 4   | 岡 佳 代   | "        |      |
| 11 | 761-1706 | 香川町大字川東上1865-8      | 川 東 小 | 4   | 小比賀 節 子 | 879-2012 |      |
| 12 | "        | "                   | "     | 5   | 喜 岡 永 光 | "        |      |
| 13 | 761-1404 | 香南町大字横井1008         | 香 南 小 | 5   | 山 田 俊 也 | 879-2269 |      |
| 14 | "        | "                   | "     | T・T | 古 田 真由美 | "        |      |
| 15 | 761-3110 | 直島町1600             | 直 島 小 | 3   | 吉 原 明 子 | 892-3007 |      |

## 綾歌郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名   | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------|---------|----|---------|-----------------|------|
| 1  | 761-2203 | 綾上町山田上甲1494-1 | 山 田 小   | 6  | 青 木 弥 生 | 087<br>878-2004 |      |
| 2  | 761-2202 | 綾上町粉所西甲2060   | 粉 所 小   | 1  | 高 古 直 之 | 878-2312        |      |
| 3  | 761-2206 | 綾上町西分1208     | 西 分 小   | 1  | 川 井 國 博 | 878-2013        |      |
| 4  | 761-2206 | 綾上町西分2213     | 西 分 南 小 | 3  | 宇 山 知 昌 | 878-2703        |      |
| 5  | 761-2101 | 綾南町大字畑田2381   | 昭 和 小   | 5  | 福 家 光 洋 | 877-0519        |      |
| 6  | "        | "             | "       | 3  | 丹 羽 枝里子 | "               |      |
| 7  | 761-2103 | 綾南町大字陶5878    | 陶 小     | 3  | 牧 野 佐江子 | 876-1182        |      |
| 8  | 761-2305 | 綾南町大字滝宮1100   | 滝 宮 小   | 5  | 小 谷 修   | 876-1183        |      |
| 9  | 761-2308 | 綾南町大字羽床下2256  | 羽 床 小   | 1  | 好 井 久 子 | 876-1184        |      |
| 10 | 769-0101 | 国分寺町新居1880    | 国分寺北部小  | 5  | 西 尾 由 加 | 874-1154        |      |
| 11 | "        | "             | "       | 3  | 鎌 野 智 子 | "               |      |
| 12 | 769-0103 | 国分寺町福家甲3005   | 国分寺南部小  | 6  | 田 中 直 樹 | 874-1160        |      |
| 13 | "        | "             | "       | 5  | 平 野 希代子 | "               |      |
| 14 | "        | "             | "       | 4  | 小 川 美 和 | "               |      |

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地   | 学 校 名   | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|-------------|---------|----|---------|-----------------|------|
| 15 | 769-0103 | 国分寺町福家甲3005 | 国分寺南部小  | 4  | 須 田 美佐子 | 087<br>874-1160 |      |
| 16 | "        | "           | "       | 4  | 林 聖 士   | "               |      |
| 17 | 761-2407 | 綾歌町富熊1227   | 富 熊 小   | 6  | 末 澤 康 彦 | 0877<br>86-2010 |      |
| 18 | "        | "           | "       | 5  | 中 野 昇 一 | "               |      |
| 19 | "        | "           | "       | 5  | 馬 場 直 明 | "               |      |
| 20 | 761-2402 | 綾歌町岡田下217   | 岡 田 小   | 5  | 眞 井 孝 征 | 86-3004         |      |
| 21 | "        | "           | "       | 4  | 太 田 和 美 | "               |      |
| 22 | "        | "           | "       | 1  | 徳 永 佳 子 | "               |      |
| 23 | 762-0082 | 飯山町川原1874   | 飯 山 北 小 | 4  | 氏 家 敏 文 | 98-2020         |      |
| 24 | 761-2101 | 綾南町大字畑田2381 | 昭 和 小   | 3  | 尾 上 育 代 | 087<br>877-0519 |      |
| 25 | 762-0084 | 飯山町上法軍寺1206 | 飯 山 南 小 | 4  | 川 村 泰 子 | 0877<br>98-2024 |      |
| 26 | 769-0210 | 宇多津町815     | 宇 多 津 小 | 6  | 森 昭     | 49-1820         |      |
| 27 | 796-0208 | 宇多津町浜八番丁115 | 宇多津北小   | 6  | 波 多 誠   | 49-2000         |      |
| 28 | "        | "           | "       | 4  | 福 家 三枝子 | "               |      |
| 29 | 769-0103 | 国分寺町福家甲3005 | 国分寺南部小  | 校長 | 山 崎 敏 和 | 087<br>874-1160 |      |
| 30 | "        | "           | "       | 教頭 | 板 東 博 文 | "               |      |
| 31 | 761-2402 | 綾歌町岡田下217   | 岡 田 小   | 校長 | 松 下 繁 美 | 0877<br>86-3004 |      |
| 32 | 761-2305 | 綾南町大字滝宮1100 | 滝 宮 小   | 校長 | 竹 下 和 男 | 087<br>876-1183 |      |
| 33 | 761-2206 | 綾上町西分1208   | 西 分 小   | 教頭 | 上 原 公 子 | 878-2013        |      |

仲多度・善通寺

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地           | 学 校 名   | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------------|---------|----|---------|-----------------|------|
| 1  | 766-0021 | 満濃町大字四條728          | 四 条 小   | 5  | 谷 口 時 美 | 0877<br>73-5514 |      |
| 2  | 766-0023 | 満濃町大字吉野74           | 満 濃 南 小 | 教頭 | 水 卜 由 文 | 79-2110         |      |
| 3  | "        | "                   | "       | 障害 | 高 橋 義 徳 | "               |      |
| 4  | 766-0017 | 満濃町大字炭所西1431-2      | 長 炭 小   | 校長 | 山 下 清 明 | 79-2006         |      |
| 5  | 766-0201 | 琴南町造田1984-1         | 西 小     | 6  | 川 田 郁 子 | 85-2010         |      |
| 6  | 769-0312 | 仲南町大字十郷字宮田<br>750-4 | 仲 南 北 小 | 校長 | 三 井 尚   | 75-4032         |      |
| 7  | "        | "                   | "       | 5  | 高 家 和 彦 | "               |      |
| 8  | 766-0002 | 琴平町145-1            | 琴 平 小   | 4  | 片 井 功   | 73-2831         |      |
| 9  | 764-0032 | 多度津町大字三井433-1       | 四 箇 小   | 5  | 森 井 信 一 | 32-2517         |      |
| 10 | 764-0035 | 多度津町大字奥白方1142       | 白 方 小   | 教務 | 亀 山 典 良 | 32-3331         |      |

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名   | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------|---------|-----|---------|-----------------|------|
| 11 | 764-0026 | 多度津町南鴨704     | 豊 原 小   | 4   | 宮 本 正 輝 | 0877<br>32-2050 |      |
| 12 | "        | "             | "       | 6   | 山 田 泰 二 | "               |      |
| 13 | 764-0011 | 多度津町栄町三丁目1-9  | 多 度 津 小 | 5   | 田 中 恵 子 | 33-1616         |      |
| 14 | "        | "             | "       | 5   | 和 泉 典 子 | "               |      |
| 15 | 765-0013 | 善通寺市文京町四丁目5-1 | 中 央 小   | 6   | 岩 崎 保 雄 | 62-1616         |      |
| 16 | "        | "             | "       | 3   | 篠 原 正 議 | "               |      |
| 17 | 765-0004 | 善通寺市善通寺町1146  | 西 部 小   | T・T | 遠 山 順 子 | 62-0701         |      |
| 18 | 765-0053 | 善通寺市生野町2990-1 | 南 部 小   | 6   | 島 田 英 夫 | 62-0702         |      |
| 19 | 765-0022 | 善通寺市稲木町450-1  | 東 部 小   | 6   | 森 昭 二   | 62-0703         |      |
| 20 | 765-0040 | 善通寺市与北町1238   | 与 北 小   | 5   | 寺 嶋 健 二 | 62-0704         |      |
| 21 | 765-0032 | 善通寺市原田町306-1  | 竜 川 小   | 3   | 宮 川 美恵子 | 62-0705         |      |
| 22 | 765-0073 | 善通寺市中村町1575-2 | 筆 岡 小   | 3   | 福 崎 美 穂 | 62-0706         |      |
| 23 | 765-0061 | 善通寺市吉原町2811   | 吉 原 小   | 校長  | 梅 木 正 信 | 62-0707         |      |
| 24 | "        | "             | "       | T・T | 高 橋 直 美 | "               |      |

### 三豊郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地           | 学 校 名     | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話            | 自宅電話 |
|----|----------|---------------------|-----------|----|---------|-----------------|------|
| 1  | 769-1602 | 三・豊浜町大字和田浜<br>1000  | 豊 浜 小     | 校長 | 大 山 正 子 | 0875<br>52-2029 |      |
| 2  | "        | "                   | "         | 1  | 近 藤 あけみ | "               |      |
| 3  | "        | "                   | "         | 6  | 清 水 裕 子 | "               |      |
| 4  | 769-1614 | 三・大野原町大字萩原<br>2354  | 萩 原 小     | 校長 | 渡 邊 重 忠 | 54-2079         |      |
| 5  | 769-1611 | 三・大野原町大字<br>大野原1905 | 大 野 原 小   | 5  | 高 橋 克 佳 | 54-2029         |      |
| 6  | "        | "                   | "         | 2  | 杉 本 友 徳 | "               |      |
| 7  | 768-0040 | 観・柞田町乙1000-1        | 柞 田 小     | 6  | 白 杵 優   | 25-3621         |      |
| 8  | 768-0012 | 観・植田町365            | 常 磐 小     | 校長 | 大 西 孝 典 | 25-2988         |      |
| 9  | 768-0033 | 観・新田町1413           | 豊 田 小     | 校長 | 各 務 清   | 27-6303         |      |
| 10 | 768-0060 | 観・観音寺町甲1186-2       | 観 音 寺 南 小 | 3  | 岸 上 也寸志 | 25-4675         |      |
| 11 | "        | "                   | "         | 6  | 深 川 隆   | "               |      |
| 12 | 768-0002 | 観・高屋町1877-1         | 高 室 小     | 6  | 三 崎 彰 夫 | 25-2661         |      |
| 13 | 768-0060 | 観・観音寺町甲670-2        | 観 音 寺 東 小 | 4  | 萬 亀 弘 吉 | 25-2219         |      |
| 14 | 768-0102 | 三・山本町大字大野<br>457-1  | 大 野 小     | 教頭 | 山 内 さつき | 63-2009         |      |
| 15 | 769-0402 | 三・財田町財田中570         | 財 田 中 小   | 3  | 三 好 啓 治 | 67-2006         |      |

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地            | 学 校 名   | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話    | 自宅電話 |
|----|----------|----------------------|---------|----|---------|---------|------|
| 16 | 769-1504 | 三・豊中町大字上高野<br>2384   | 上 高 野 小 | 5  | 西 谷 則 一 | 62-2064 |      |
| 17 | "        | "                    | "       | 6  | 安 藤 通   | "       |      |
| 18 | 769-1502 | 三・豊中町大字笠田<br>笠岡2191  | 笠 田 小   | 校長 | 田 井 秀 典 | 62-2004 |      |
| 19 | 767-0021 | 三・高瀬町大字佐股甲<br>1497-1 | 二 ノ 宮 小 | 6  | 岩 倉 隆 視 | 74-6302 |      |
| 20 | 767-0013 | 三・高瀬町大字下麻<br>1209    | 麻 小     | 校長 | 前 田 高 次 | 74-6237 |      |
| 21 | "        | "                    | "       | 1  | 高 濱 淳 子 | "       |      |
| 22 | 769-1403 | 三・仁尾町大字仁尾丙<br>1736   | 仁 尾 小   | 5  | 小 西 寛   | 82-2049 |      |
| 23 | 769-1101 | 三・詫間町大字詫間<br>2158    | 詫 間 小   | 6  | 赤 坂 光 敏 | 83-2858 |      |
| 24 | 769-1104 | 三・詫間町大字大浜甲<br>1633-1 | 大 浜 小   | 3  | 秋 元 一 秀 | 84-7359 |      |
| 25 | 769-1108 | 三・詫間町大字粟島<br>1506-2  | 粟 島 小   | 教頭 | 安 藤 清 和 | 84-7012 |      |
| 26 | 769-1102 | 三・詫間町大字松崎<br>722     | 松 崎 小   | 3  | 名 越 盟 人 | 83-2856 |      |
| 27 | "        | "                    | "       | 障害 | 石 川 博 健 | "       |      |





